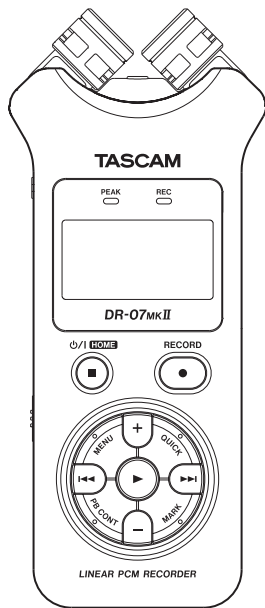
D01145001B

TASCAM

DR-07MKⅡ

Linear PCM Recorder

取扱説明書

安全にお使いいただくために

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の注意事項をよくお読みください。

	警告 以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 ACアダプターの電源プラグをコンセントから抜く	**万一、異常が起きたら** **煙が出たり、変なにおいや音がするときは** **機器の内部に異物や水などが入ったときは** **この機器を落としたり、カバーを破損したときは** すぐに機器本体の電源を切り、必ずACアダプターの電源プラグをコンセントから抜いてください。異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。 販売店またはティアック修理センター（巻末に記載）に修理をご依頼ください。
 指示	**ACアダプターの電源プラグにほこりをためない** ACアダプターの電源プラグとコンセントの間にゴミやほこりが付着すると、火災・感電の原因となります。定期的（年1回くらい）にACアダプターの電源プラグを抜いて、乾いた布でゴミやほこりを取り除いてください。
 禁止	 **ACアダプターのコードを傷つけない** **ACアダプターのコードの上に重い物を載せたり、コードを壁や棚との間に挟み込んだり、本機の下敷きにしない** **ACアダプターのコードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、熱器具に近づけて加熱したりしない** コードが傷んだまま使用すると火災・感電の原因となります。 万一、ACアダプターのコードが破損したら（芯線の露出、断線など）、販売店またはティアック修理センター（巻末に記載）をご依頼ください。

	警告 以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 禁止	**別売のACアダプターや電源コードを他の機器に使用しない** 故障、火災、感電の原因となります。
	交流100ボルト以外の電圧で使用しない この機器を使用できるのは日本国内のみです。表示された電源電圧（交流100ボルト）以外の電圧で使用しないでください。また、船舶などの直流（DC）電源には接続しないでください。火災・感電の原因となります。
	この機器の隙間などから内部に金属類や燃えやすい物などを差し込んだり、落としたりしない 火災・感電の原因となります。
	航空機の離着陸時には使用しない 航空機の運航の安全に支障を及ぼす恐れがあるため、離着陸時の使用は航空法令により制限されていますので、離着陸時は本機の電源をお切りください。
 分解禁止	**この機器のカバーは絶対に外さない** カバーを外す、または改造すると、火災・感電の原因となります。 内部の点検·修理は販売店またはティアック修理センター（巻末に記載）にご依頼ください。
	この機器を改造しない 火災・感電の原因となります。

	注意	以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

ACアダプターの電源プラグをコンセントから抜く	**移動させる場合は、電源をスタンバイにし、必ずACアダプターの電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外す** コードが傷つき、火災・感電の原因や、引っ掛けてけがの原因になることがあります。
	旅行などで長期間この機器を使用しないときやお手入れの際は、安全のため必ずACアダプターの電源プラグをコンセントから抜く 通電状態の放置やお手入れは、漏電や感電の原因となることがあります。
指示	**オーディオ機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明にしたがって接続する** **また、接続は指定のコードを使用する**
	電源を入れる前には、音量を最小にする 突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。また、モニター機器などを破損する原因となることがあります。
	この機器はコンセントの近くに設置し、ACアダプターの電源プラグは簡単に手が届くようにする 異常が起きた場合は、すぐにACアダプターの電源プラグをコンセントから抜いて、完全に電源が切れるようにしてください。
	この機器には、別売の専用ACアダプターや電源コードを使用する それ以外の物を使用すると、故障、火災、感電の原因となります。

	注意	以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

禁止	**ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない** **湿気やほこりの多い場所に置かない。風呂、シャワー室では使用しない** **調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たる場所に置かない** 火災・感電やけがの原因となることがあります。
	ACアダプターの電源プラグを抜くときは、ACアダプターの電源コードを引っ張らない コードが傷つき、火災·感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。
禁止	**濡れた手でACアダプターの電源プラグを抜き差ししない** 感電の原因となることがあります。
注意	5年に1度は、機器内部の掃除を販売店またはティアック修理センター（巻末に記載）にご相談ください。 内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除費用については、ご相談ください。

電池の取り扱いについて

本機は、電池を使用しています。誤って使用すると、発熱、発火、液漏れなどを避けるため、以下の注意事項を必ず守ってください。

	警告 乾電池に関する警告
	乾電池は絶対に充電しない 破裂、液漏れにより、火災・けがの原因となります。

	警告 電池に関する警告
	電池を入れるときは、極性表示(プラスとマイナスの向き)に注意し、電池ケースに表示されている通りに正しく入れる 間違えると電池の破裂、液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
	長時間使用しないときは電池を取り出しておく 液が漏れて火災・けが、周囲を汚損する原因となることがあります。もし液が漏れた場合は、電池ケースに付いた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。また、万一漏れた液体が身体に付いたときは、水でよく洗い流してください。
	指定以外の電池は使用しない **新しい電池と古い電池、または種類の違う電池を混ぜて使用しない** 破裂、液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損することがあります。
	炎天下の車内や暖房器具のそばなど、温度が高くなる所で保管しない 本体の変形によるショートや発火、故障、電池の劣化の原因となります。

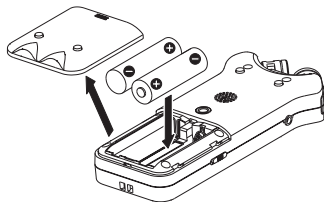
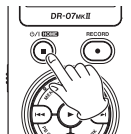
	注意 電池に関する注意
	金属製の小物類と一緒に携帯、保管しない ショートして液漏れや破裂などの原因となることがあります。
	分解しない 電池内の酸性物質により、皮膚や衣服を損傷する恐れがあります。
	保管や廃棄をする場合は、他の電池や金属の物と接触しないようにテープなどで端子を絶縁してください。
	使い終わった電池は、電池に記載された廃棄方法、もしくは各市町村の廃棄方法にしたがって捨ててください。

目次

目次

クイックスタートガイド

本機を使って、録音と再生をしてみましょう。
工場出荷時には、あらかじめmicroSDカードが本体に挿入されおり、録音形式はWAV形式44.1kHz、16ビットに設定されています。
録音形式を変更すると、より高音質で録音したしたり、より長時間の録音することができます。詳しくは、36ページ「録音形式／サンプリング周波数／チャンネル／最大ファイルサイズを設定する」をご参照ください。

1. 本機の裏面にある電池ケースに電池を入れます。電池ケース内の⊕と⊖表示に合わせて電池をセットしてください。

2. 電源をオンにします。各種情報を表示します。
⏻/❙ (HOME)[■] ボタンを、本機が起動されるまで押し続けます。本機が起動したらボタンを放します。

注意

お買い上げ後、最初に電源を入れたときは、以下の初期設定を行う必要があります。

1) ディスプレーに表示される言語を設定するための画面が表示されます。

＋ボタンまたは－ボタンを押してカーソル（反転表示部）を移動し、ディスプレーに表示される言語を選択します。

選択肢

"ENGLISH" ：英語で表示
"日本語" ：日本語で表示

選択が完了したら、►ボタンを押して確定します。

2) 内蔵時計を設定するための画面が表示されます。

◄◄ボタンまたは►►ボタンを押して、カーソル（反転表示部）を移動し、＋ボタンまたは－ボタンを使って日付と時刻を合わせます。
設定が完了したら、►ボタンを押して確定します。

3. RECORD［●］ボタンを押すと、録音待機状態になります。このとき、RECインジケーターが点滅します。

メモ

このとき、ホーム画面右上に "L-R" または "R-L" のアイコンが付いている場合、マイクの角度と内蔵マイクの左右設定が合っていませんので、設定を変更します。（→ 33ページ「内蔵ステレオマイクについて」）

4. ⏮ボタンまたは⏭ボタンを使って録音レベルを設定します。詳しくは、39ページ「入力レベルを調節する」を参照してください。

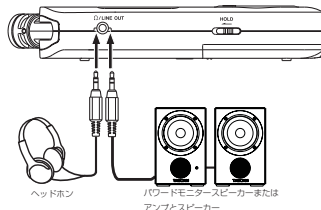
5. RECORD［●］ボタンを押すと、録音が始まります。録音中は、RECインジケーターが点灯します。

6. 録音を終了するには、⏻/❘(HOME)［■］ボタンを押します。

メモ

録音中に再度RECORD［●］ボタンを押すことで録音を一時停止し、RECORD［●］ボタンを押すと同じファイルに録音を再開することができます。

7. ►ボタンを押すと、今録音したものが再生されます。ヘッドホンで聴く場合や、外部モニターシステム（パワードモニタースピーカーまたはアンプとスピーカー）で聴く場合は、左サイドパネルにある Ω /LINE OUT端子に機器を接続します。
本体内蔵のスピーカーで聴く場合は、スピーカー設定をオンにします。（→ 32ページ「内蔵スピーカーで再生する」）

ヘッドホン　パワードモニタースピーカーまたはアンプとスピーカー

8. 再生音量の調節は、+ボタンまたは−ボタンを使って行います。

9. 再生を停止するには、⏻/❘(HOME)［■］ボタンを押します。

メモ

録音を複数回行った場合は、ホーム画面で停止中または再生中に、⏮ボタンまたは⏭ボタンを使って再生するファイルを選択します。

第1章　はじめに

このたびは、TASCAM Linear PCM Recorder DR-07MKIIをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しい取り扱い方法をご理解いただいた上で、末永くご愛用くださいますようお願い申しあげます。お読みになったあとは、いつでも見られる所に保管してください。

また取扱説明書は、TASCAMのウェブサイト（**http://tascam.jp/**）からダウンロードすることができます。

本機の概要

- 記録メディアにmicroSD／microSDHCカードを採用したコンパクトサイズのオーディオレコーダー
- 高性能な指向性ステレオマイクを搭載
- マイクの開閉により音質の異なるステレオ録音が可能

  閉めた状態：位相差を抑えたクリアなステレオ録音

  開いた状態：広がりのあるステレオ録音
- 44.1k/48k/96kHz、16/24ビットのリニアPCM（WAV形式）録音が可能
- WAVファイルはBWFフォーマットに対応
- 32k ～ 320kbpsのMP3形式での録音が可能（ID3 tag v2.4対応）
- 再生音に入力信号をミックスして別ファイルとして録音することが可能なオーバーダビング機能
- 0.3Wモノラル出力のスピーカー内蔵
- 録音時または再生時に使用可能な内蔵エフェクター（リバーブ）を搭載
- 音声の入力レベルを感知して、自動で録音の開始が行える自動録音機能
- 録音を継続したまま、あらかじめ設定した最大ファイルサイズによって、自動的に新たなファイルに記録を開始することが可能
- 状態に応じて、必要な機能にすばやくアクセスするための**QUICK**（クイック）ボタン搭載
- 録音を継続したまま、任意の位置でファイルを更新できるトラックインクリメント機能
- 録音開始2秒前からの音を録音できる事前録音機能
- 入力レベルが大きすぎる場合に、適度なレベルに自動的に入力レベル設定を下げるピーク検出機能
- 大きい音は小さく、小さい音は大きくして常に最適なレベルで録音できる自動レベル機能
- 入力レベルが大きすぎる場合に、その部分だけ適度なレベルに自動的に調節するリミッター機能
- 低域ノイズの低減に便利な低域カットフィルター
- 音程を変えずに再生スピードを0.5倍から1.5倍まで（0.1倍単位）可変できるVSA機能
- リピート再生機能およびIN-OUTループ再生機能
- 再生スピードコントロール、IN-OUTループの設定を行う画面を表示する**PB CONT**ボタン搭載
- 楽器の音程を合わせるためのチューナー機能
- 指定時間後に録音を開始するセルフタイマー機能
- 再生中にボタンのワンプッシュで

数秒前に戻って再生し直す戻り再生機能
- 録音ボタンの操作音の録音を避けるためのレックディレイ機能
- 再生リスト機能
- 任意の位置でファイルを分割するファイル分割機能（WAVファイルのみ）
- 特定の位置への移動に役立つマーク機能
- 再生イコライザー機能および、再生全体の音圧感を上げる出力音量補正機能
- ファイル名の形式をユーザーワードまたは日付のどちらかに設定可能
- 電源をオフにする前の再生位置を記憶しておくリジューム機能
- 外部ステレオマイク入力（プラグインパワー対応）またはステレオ外部入力用の3.5mm（1/8"）端子
- 3.5mm（1/8"）ライン出力／ヘッドホン出力端子
- 128 x 64のバックライト付きドットマトリックスタイプLCD
- Mini-B タイプUSB 2.0端子
- 単3形電池2本、ACアダプター（別売：TASCAM PS-P515U）またはUSBバスパワー駆動
- 本体に三脚取り付け用穴を装備
- USBケーブル付属

本製品の構成

本製品の構成は、以下の通りです。
梱包箱と梱包材は、後日輸送するときのために保管しておいてください。
付属品が不足している場合や輸送中の損傷が見られる場合は、カスタマーサポート（巻末に記載）までご連絡ください。

- 本体　x1
- microSDメモリーカード（本体差し込み済み）x1
- 単3形アルカリ乾電池　x2
- USBケーブル（80cm）　x1
- 取扱説明書（本書、保証書付き）　x1

本書の表記

本書では、以下のような表記を使います。

- 本機および外部機器のボタン／端子などを「**MENU**ボタン」のように太字で表記します。
- ディスプレーに表示される文字を **"オン"** のように "_" で括って表記します。
- 「microSDメモリーカード」のことを「microSDカード」と表記します。
- パソコンのディスプレー上に表示される文字を **《DR-07MK2》** のように《_》で括って表記します。
- 必要に応じて追加情報などを、「ヒント」、「メモ」、「注意」として記載します。

ヒント

本機をこのように使うことができる、といったヒントを記載します。

メモ

補足説明、特殊なケースの説明などをします。

注意

指示を守らないと、人がけがをしたり、機器が壊れたり、データが失われたりする可能性がある場合に記載します。

商標および著作権に関して

- TASCAMおよびタスカムは、ティアック株式会社の登録商標です。
- microSDHCロゴは、SD-3C, LLCの商標です。

- Supply of this product does not convey a license nor imply any right to distribute MPEG Layer-3 compliant content created with this product in revenue-generating broadcast systems (terrestrial, satellite, cable and/or other distribution channels), streaming applications (via Internet, intranets and/or other networks), other content distribution systems (pay-audio or audio-on-demand applications and the like) or on physical media (compact discs, digital versatile discs, semiconductor chips, hard drives, memory cards and the like). An independent license for such use is required. For details, please visit http://mp3licensing. com.
- MPEG Layer-3 audio coding technology licensed from Fraunhofer IIS and Thomson.
- Windows 8、Windows 7、Windows Vista および Windows XP は、米国 Microsoft Corporation の米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。
- Apple、iMac、Mac OS および Mac OS X は、Apple Inc. の商標です。
- EVOLTAは、パナソニック株式会社の登録商標です。
- eneloopは、三洋電機株式会社の登録商標です。
- その他、記載されている会社名、製品名、ロゴマークは各社の商標または登録商標です。

ここに記載されております製品に関する情報、諸データは、あくまで一例を示すものであり、これらに関します第三者の知的財産権、およびその他の権利に対して、権利侵害がないことの保証を示すものではございません。従いまして、上記第三者の知的財産権の侵害の責任、またはこれらの製品の使用により発生する責任につきましては、弊社はその責を負いかねますのでご了承ください。

第三者の著作物は、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。装置の適正使用をお願いします。
弊社では、お客様による権利侵害行為につき一切の責任を負担致しません。

microSDカードについて

本機では、microSDカードを使って録音や再生を行います。
使用できるカードは、64MB ～ 2GBのmicroSDカード、および4GB ～ 32GBのmicroSDHCカードです。
TASCAMのウェブサイト（**http://tascam.jp/**）には、当社で動作確認済みのmicroSDカードのリストが掲載されていますので、ご参照ください。もしくは、タスカムカスタマーサポート（巻末に記載）までお問い合わせください。

取り扱い上の注意

microSDカードは、精密にできています。カードやスロットの破損を防ぐため、取り扱いに当たって以下の点をご注意ください。

- 極端に温度の高い、あるいは低い場所に放置しないと。
- 極端に湿度の高い場所に放置しないこと。
- 濡らさないこと。
- 上に物を載せたり、ねじ曲げたりしないこと。
- 衝撃を与えないこと。

設置上の注意

- 本機の動作保証温度は、摂氏0度～40度です。
- 次のような場所に設置しないでください。音質低下の原因、または故障の原因となります。

  振動の多い場所
  窓際などの直射日光が当たる場所
  暖房器具のそばなど極端に温度が高い場所
  極端に温度が低い場所
  湿気の多い場所や風通しが悪い場所
  ほこりの多い場所
  直接雨などの水が当たる場所
- 本機の近くにパワーアンプなどの大型トランスを持つ機器がある場合にハム（うなり）を誘導することがあります。この場合は、この機器との間隔や方向を変えてください。
- テレビやラジオの近くで本機を動作させると、テレビ画面に色むらが出る、またはラジオから雑音が出ることがあります。この場合は、本機を遠ざけて使用してください。
- 携帯電話などの無線機器を本機の近くで使用すると、着信時や発信時、通話時に本機から雑音が出ることがあります。この場合は、それらの機器を本機から遠ざけるか、もしくは電源を切ってください。
- パワーアンプなど熱を発生する機器の上に本機を置かないでください。

結露について

本機を寒い場所から暖かい場所へ移動したときや、寒い部屋を暖めた直後など、気温が急激に変化すると結露を生じることがあります。結露したときは、約1～2時間放置してから電源を入れてお使いください。

製品のお手入れ

製品の汚れは、柔らかい布でからぶきしてください。化学雑巾、ベンジン、シンナー、アルコールなどで拭かないでください。表面を傷める、または色落ちさせる原因となります。

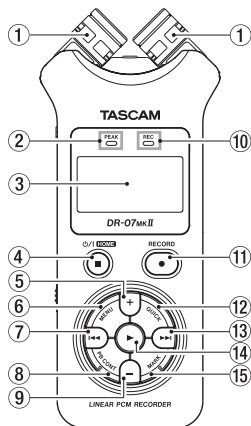
ユーザー登録について

TASCAMのウェブサイトにて、オンラインでのユーザー登録をお願いいたします。

http://tascam.jp/support/registration/

アフターサービス

- この製品には、保証書が添付（巻末に記載）されています。大切に保管してください。万が一販売店印の捺印やご購入日の記載がない場合は、無償修理保証の対象外になりますので、ご購入時のレシートなどご購入店・ご購入日が確認できるものを一緒に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年です。保証期間中は、記載内容によりティアック修理センター（巻末に記載）が修理いたします。その他の詳細については、保証書をご参照ください。
- 保証期間経過後、または保証書を提示されない場合の修理などについては、お買い上げの販売店またはティアック修理センター（巻末に記載）にご相談ください。修理によって機能を維持できる場合は、お客様のご要望により有償修理いたします。
- 万一、故障が発生した場合は使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ店またはティアック修理センター（巻末に記載）までご連絡ください。修理を依頼される場合は、次の内容をお知らせください。
なお、本機の故障、もしくは不具合により発生した付随的損害（録音内容などの補償）の責については、ご容赦ください。
本機を使ったシステム内のハードディスクなどの記憶内容を消失した場合の修復に関しては、補償を含めて当社は責任を負いかねます。
    - 型名、型番（DR-07MKII）
    - 製造番号（Serial No.）
    - 故障の症状（できるだけ詳しく）
    - お買い上げ年月日
    - お買い上げ販売店名
- お問い合わせ先については、巻末をご参照ください。
- 当社は、この製品の補修用性能部分（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後8年間保有しています。
- 本機を廃棄する場合に必要となる収集費などの費用は、お客様のご負担になります。

トップパネル

① **内蔵ステレオマイク**

エレクトレットコンデンサータイプの指向性ステレオマイクです。マイクは、両方のマイクを開いた状態（A-B）、閉じた状態（X-Y）の2つの状態にすることができます。リアパネルの**MIC/EXT IN**端子に外部マイクや外部入力を接続すると、接続した外部マイク／外部入力が優先になり、内蔵ステレオマイクが無効になります。

② **PEAKインジケーター**

録音する音のレベルが歪む直前に赤く点灯します。

③ **ディスプレー**

各種情報を表示します。

④ **⏻/｜(HOME)[■] ボタン**

再生中にこのボタンを押すと、その位置で再生を停止します（一時停止）。一時停止中にこのボタンを押すと、その曲の先頭に戻ります。録音待機中または録音中にこのボタンを押すと、録音を停止します。各種設定画面を表示中に押すと、ホーム画面に戻ります。また、各種設定画面の操作では、確認のポップアップメッセージに対して「いいえ」と答えるときに使います。
長く押すと、電源のオン／オフの切り換えを行います。

⑤ **+ボタン**

ホーム画面および **"チューナー"** 画面を表示中にこのボタンを押すと、内蔵スピーカーまたは **Ω/LINE OUT**端子から出力される音量を大きくします。調節中は、ボリューム位置がディスプレーの下部にプルアップ表示されます。
再生コントロール画面を表示中にこのボタンを押すと、再生スピードを早くします。
各種設定画面での操作時、項目を選択する、または選択肢／値を変更するときに使います。

⑥ **MENUボタン**

ホーム画面表示中にこのボタンを押すと、**"メニュー"** 画面が表示されます。
各種設定画面を表示中に、このボタンを押したときも、**"メニュー"** 画面に戻ります。
再生コントロール画面でIN点（ループ再生の始点）およびOUT点（終点）が設定されているときにこの

ボタンを押すと、ループ再生のオン／オフを切り換えます。

⑦ ⏮ボタン

再生中、またはファイルの途中で停止しているときにこのボタンを押すと、曲の先頭に戻ります。
現在位置から曲の先頭の間にIN点（ループ再生の始点）およびOUT点（終点）が設定されているときには、IN点（始点）またはOUT点（終点）に移動します。
ファイルの先頭で停止しているときに押すと、手前のファイルにスキップします。
押し続けると早戻しサーチを行います。
MARKボタンを押しながらこのボタンを押すと、前のマークに移動します。
各種設定画面を表示中に、画面内のカーソルを左に移動します。
“ファイル／フォルダー” 画面では、階層を戻ります。
録音待機中または録音中に押すと、内蔵ステレオマイクまたはリアパネルのMIC/EXT IN端子からの入力音の入力レベルを小さくします。
調節中は、入力レベル設定状態を表すメーターがディスプレーの下部にプルアップ表示されます。

⑧ PB CONTボタン

このボタンを押すと、再生コントロール画面が表示されます。
再生コントロール画面表示中にこのボタンを押すと、ホーム画面に戻ります。
録音待機中にこのボタンを押すと、セルフタイマー機能のオフ、時間の切り換えをします。

⑨ ーボタン

ホーム画面および **“チューナー”** 画面を表示中にこのボタンを押すと、内蔵スピーカーまたは Ω /LINE OUT端子から出力される音量を小さくします。
調節中は、ボリューム位置がディスプレーの下部にプルアップ表示されます。
再生コントロール画面を表示中にこのボタンを押すと、再生スピードを遅くします。
各種設定画面での操作時、項目を選択する、または選択肢／値を変更するときに使います。

⑩ RECインジケーター

録音待機中は、インジケーターが点滅します。
録音を開始するとインジケーターが点灯します。

⑪ RECORD [●] ボタン

停止中に押すと録音待機状態になり、RECインジケーターが点滅します。また、**“入力ミックス”** 画面の **“入力ミックス”** 項目が **“オン”** の場合は、オーバーダビングのオン／オフ設定のポップアップメニューが表示されます。
録音待機中に押すと録音が始まり、RECインジケーターが点灯します。
録音中に押すと、録音一時停止になります。

⑫ QUICKボタン

ホーム画面で停止中／一時停止中／再生中／録音待機中、および再生コントロール画面を表示中にこのボタンを押すと、クイックメニュー画面を表示します。ボタンを押したときの本機の状態で、表示される機能が異なります。

- **停止中：**現在の曲の削除、分割、出力音量補正機能
- **再生中／再生コントロール画面：**出力音量補正機能
- **録音待機中：**入力レベル制御機能

録音中に押すと、トラックインクリメントします。

"ファイル／フォルダー " 画面および **"再生リスト"** 画面を表示中にこのボタンを押すと、ファイル／フォルダー操作のポップアップメニューを表示／非表示します。

⑬ ►►I ボタン

停止中または再生中にこのボタンを押すと、次のファイルにスキップします。

現在位置から曲の先頭の間にIN点（ループ再生の始点）およびOUT点（終点）が設定されているときには、IN点（始点）またはOUT点（終点）に移動します。

押し続けると早送りサーチを行います。

各種設定画面を表示中に、画面内のカーソルを右に移動します。

MARKボタンを押しながらこのボタンを押すと、次のマークに移動します。

"ファイル／フォルダー " 画面では、階層を進みます。ファイルが選択されているときは、ファイルをロードしてホーム画面に戻り停止します。

録音待機中または録音中に押すと、内蔵ステレオマイクまたはリアパネルの**MIC/EXT IN**端子からの入力音の入力レベルを大きくします。調節中は、入力レベル設定状態を表すメーターがディスプレーの下部にプルアップ表示されます。

⑭ ► ボタン

ホーム画面で停止中に押すと、再生を始めます。

再生中に押すと、戻り再生を行います。

また、各種設定画面の操作では、選択されている項目を決定する、または確認のポップアップメッセージに対して「はい」と答えるときに使います。

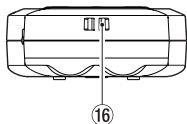
"ファイル／フォルダー " 画面で、ファイルまたはフォルダーを選択した状態でこのボタンを押すと、ホーム画面に戻り、そのファイルまたはフォルダーの最初から再生します。

⑮ MARKボタン

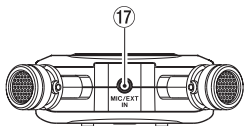
録音中に手動でマークを付けるときに使用します。

このボタンを押しながら、I◄◄ボタンを押すと前のマークに、►►Iボタンを押すと次のマークへ移動します。また、再生コントロール画面表示中に、希望の区間をループ再生させるときのIN点（始点）とOUT点（終点）を設定します。

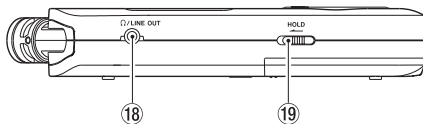
IN点（始点）とOUT点（終点）が設定されているときに、このボタンを押すと、IN点（始点）とOUT点（終点）がクリアされます。

フロントパネル

⑯ ストラップホルダー

ストラップを取り付けます。

リアパネル

⑰ MIC/EXT IN端子

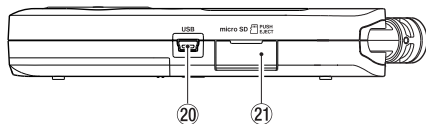
ステレオミニジャックの外部マイク入力または外部入力端子です。プラグインパワーに対応しています。
MIC/EXT IN端子に接続された外部マイクが内蔵ステレオマイクよりも優先されます。

左サイドパネル

⑱ Ω /LINE OUT端子

ヘッドホンまたはステレオミニジャックケーブルを使用して外部機器のライン入力端子と接続します。

⑲ HOLDスイッチ

左側にセット（矢印の方向に移動）するとホールド機能が働きます。
ホールド中は、全てのボタン操作を受け付けません。

右サイドパネル

⑳ USB端子

付属のUSBケーブルを使って、パソコンと接続するためのUSBポートです。（→ 75ページ「第10章　パソコンと接続する」）

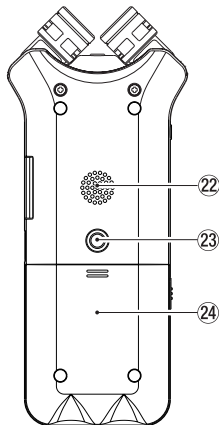
付属のUSBケーブルまたは別売の専用ACアダプター（TASCAM PS-P515U）で電源を供給することができます。

注意

パソコンとの接続は、USBハブを経由せずに直接接続してください。

㉑ microSDカードスロット

microSDカードの挿入／取り出しをします。

ボトムパネル

㉒ 内蔵モノラルスピーカー

モニター用の内蔵スピーカーです。

録音待機中または録音中、ヘッドホンを接続しているとき、スピーカーがオフに設定されているとき、または入力ミックスがオンに設定されているときは、音が出力されません。

㉓ 三脚取り付け用穴（1 ／ 4インチ）

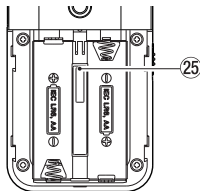
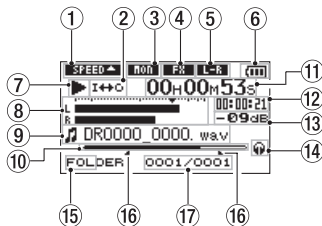
本体に三脚を取り付けることができます。

注意

- 本体の落下を防ぐため、三脚またはマイクスタンド各部のネジを確実に締めてください。
- 三脚またはマイクスタンドに本体を取り付けて使用する場合は、三脚またはマイクスタンドを水平な場所に置いてください。

㉔ 電池ケース蓋

㉕ 電池ケース

本機の電源になる電池（単3形電池、2本）を収納するケースです。（→27ページ「単3形電池で使用する」）

ホーム画面

① 再生速度の状態表示

再生速度の設定に応じて、以下のアイコンを表示します。

アイコン	再生速度
SPEED –	1倍
SPEED ▲	1.1〜1.5倍
SPEED ▼	0.5〜0.9倍
SPEED X	再生スピードの変更不可のとき

② ループ再生／リピート再生の設定状態表示

状況に応じて、以下のアイコンを表示します。

SINGLE ：シングル再生
⟳1 ：1曲リピート再生
⟳ALL ：全曲リピート再生
I↔O ：ループ再生

③ 入力ミックスの状態表示

入力ミックスのオン／オフ状態を表示します。

MON ：入力ミックスオフ
MON ：入力ミックスオン

④ エフェクターのオン／オフ状況表示

エフェクターのオン／オフ状態をアイコン表示します。

FX ：内蔵エフェクターオフ
FX ：内蔵エフェクターオン

⑤ 内蔵ステレオマイクの左右設定表示

内蔵ステレオマイクの左右設定が、マイクの角度設定と合っていないときに、現在の左右設定状態を表示します。

アイコン	マイク角度	MIC設定
L-R	閉（X-Y）	L-R
R-L	開（A-B）	R-L

⑥ 電源供給の状態表示

電池駆動時は、電池アイコンを表示します。

電池残量に応じて、目盛りが表示されます（"▮▮▮"、"▮▮"、"▮"）。目盛り表示がなくなると "□" が点滅し、電池切れのためにまもなく電源がオフになります。

別売の専用ACアダプター（TASCAM PS-P515U）使用時およびUSBバスパワー駆動時は、"⇔" を表示します。

メモ

残量がなくなる前でも録音など消費電力の大きい動作を行おうとすると、**"電池残量がありません"** の警告のポップアップメッセージが出ることがあります。

⑦ レコーダーの状態表示

レコーダーの動作状況をアイコン表示します。

表示	内容
■	停止中
❚❚	一時停止中
►	再生中
►►	早送り中
◄◄	早戻し中
►►❙	次のファイルの先頭にスキップ
❙◄◄	現在または手前のファイルの先頭にスキップ

⑧ レベルメーター

入力音または再生音のレベルを表示します。

入力ミックスがオンのときは、入力音と再生音をミックスしたレベルを表示します。

⑨ ファイル情報表示

再生中のファイルのファイル名、またはタグ情報を表示します。

ID3タグ情報を持つMP3ファイルの場合は、ID3タグ情報が優先して表示されます。

メモ

ID3タグ情報とは、MP3ファイルに保存可能なタイトルやアーティスト名の情報です。

⑩ 再生位置表示

現在の再生位置をバー表示します。再生の経過とともに、左からバーが伸びていきます。

⑪ 経過時間表示

再生中のファイルの経過時間（時：分：秒）を表示します。

⑫ 残量時間表示

再生中のファイルの残量時間（時：分：秒）を表示します。

⑬ ピーク値のデシベル（dB）表示

一定時間ごとに、その期間の再生レベルの最大値を、デシベル表示します。

⑭ モニター出力表示

🎧：ヘッドホンから出力します

🔈：内蔵スピーカーから出力します

⑮ 再生範囲表示

現在の再生ファイルの範囲を表示します。

"ALL"：MUSICフォルダー内の全ファイル

"FOLDER"：選択したフォルダー内の全ファイル

"P.LIS"：再生リストに登録されたファイル

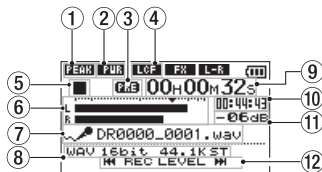
⑯ ループ再生のIN点（始点）、OUT点（終点）の設定状況

ループ再生のIN点（始点）／ OUT点（終点）の設定状況を表示します。
IN点（始点）を設定すると、再生位置表示バー上の該当位置に "◢" アイコンが表示されます。
OUT点（終点）を設定すると、再生位置表示バー上の該当位置に "◣" アイコンが表示されます。

⑰ 再生ファイル番号／総ファイル数

再生対象エリアの総ファイル数と現在のファイル番号を表示します。

録音画面

録音待機中または録音中は、以下の録音画面を表示します。

① 入力レベル制御機能状態表示

OFF ：入力レベル制御機能オフ
PEAK ：ピーク検出
AUTO ：自動レベル調整
LMT ：リミッター

② プラグインパワーオン／オフ状態表示

プラグインパワーのオン／オフ状態を表示します。

PWR ：プラグインパワーオフ
PWR ：プラグインパワーオン

③ 事前録音機能または自動録音機能の設定状態表示

事前録音機能が **"オン"** のかつ録音待機中は、**"PRE"** アイコンが表示されます。
自動録音機能が **"オン"** かつ録音中は、**"A.REC"** アイコンが表示されます。

④ 低域カットフィルターオン／オフ状態表示

低域カットフィルターのオン／オフ状態を表示します。**"40Hz"**、**"80Hz"** または **"120Hz"** 設定時に反転表示します。

LCF ：低域カットフィルターオフ
LCF ：低域カットフィルターオン

⑤ レコーダー動作状態表示

レコーダーの動作状況をアイコン表示します。

表示	内容
■	録音待機中
❚❚	録音一時停止中（録音待機中）
●	録音中

⑥ レベルメーター

入力音のレベルを表示します。
オーバーダビング中は、入力音と再生音をミックスしたレベルを表示します。
目盛りには、−12dBの位置に入力レベル調整時の目印となる **“▼”** マークがあります。

⑦ ファイル名表示

録音するファイルに自動的に付けられるファイル名を表示します。

⑧ 録音モード表示

録音ファイルの形式、サンプリング周波数、ステレオ／モノラル（**“ST”** ／ **“MONO”**）を表示します。

⑨ 録音経過時間

録音ファイルの経過時間（時：分：秒）を表示します。

⑩ 録音残時間

設定した最大ファイルサイズに対する残時間（時：分：秒）を表示します。ただし、SDカードの残り時間の方が少ない場合はそちらを表示します。

⑪ ピーク値のデシベル（dB）表示

録音レベルのピーク値をデシベル表示します。

⑫ 入力レベル使用ボタン表示

入力レベルを表示するために使用するボタン（**“⏮”** ／ **“⏭”**）を表示します。
⏮ボタン／ ⏭ボタンを押すと、この部分に入力レベル設定状態を表すメーターがプルアップ表示されます。

再生コントロール画面

停止中または再生中に**PB CONT**ボタンを押すと、再生コントロール画面が表示されます。
この画面では、録音はできません。また、⏮ボタン／ ⏭ボタンは、IN点（始点）／ OUT点（終点）または先頭／末尾へスキップし、前または次のファイルへのスキップはできません。

① ループ再生の設定状態表示

ループ再生が有効なとき、**“I↔O”** アイコンが表示されます。

② 再生速度表示

再生速度が標準再生速度の何倍かで表示されます。VSA機能（Variable Speed Audition：曲の音程を保ったまま再生スピードを変えることができる機能）が有効であることを示す **“再生スピード”** が先頭に表示されます。

③ 再生位置表示

現在の再生位置をバー表示します。再生の経過とともに、左からバーが伸びていきます。

④ ループ再生のIN点（始点）、OUT点（終点）の設定状況

ループ再生のIN点（始点）／ OUT点（終点）の設定状況を表示します。
IN点（始点）を設定すると、再生位置表示バー上の該当位置に "◢" アイコンが表示されます。
OUT点（終点）を設定すると、再生位置表示バー上の該当位置に "◣" アイコンが表示されます。

⑤ 使用ボタン表示

再生コントロール画面を表示中に使用するボタンと、その用途を表示します。

"MARK"：IN点（始点）、OUT点（終点）およびそれらのクリアに使います。

"MENU"：ループ再生のオン／オフを切り換えるのに使います。

メモ

この画面でQUICKボタンを押したときには、他の画面と異なり、クイックメニュー画面には **"出力音量補正"** のみが表示され、出力音量補正機能のみが使用できます。

メニューの構成

MENUボタンを押すと、**"メニュー "** 画面が表示されます。メニュー項目は、以下の通りです。

メニュー項目	機能	参照ページ
録音設定	録音の設定をします。	→ 36ページ
再生設定	再生範囲の設定をします。	→ 55ページ
	リピート再生の設定をします。	→ 61ページ
	再生音質の設定をします。	→ 64ページ
	戻り再生機能の設定をします。	→ 64ページ
ファイル／フォルダー	カード内のファイル、フォルダーの操作をします。	→ 53ページ
スピーカー設定	内蔵スピーカーのオン／オフを設定します。	→ 32ページ
その他	その他のサブメニューを表示します。	

"メニュー " 画面で **"その他"** を選択すると、**"その他"** サブメニュー画面が表示されます。サブメニュー項目は、以下の通りです。

サブメニュー項目	機能	参照ページ
インフォメーション	ファイル情報、microSDカード情報、システム情報を表示します。	→ 76ページ
入力ミックス	入力ミックスの設定をします。	→ 44ページ
チューナー	チューナーを使用します。	→ 72ページ
エフェクト	エフェクターの設定をします。	→ 70ページ
ファイル名設定	ファイル名の設定をします。	→ 80ページ
日時設定	日時、時刻の設定をします。	→ 30ページ
システム設定	各種設定を行います。	→ 77ページ

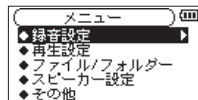
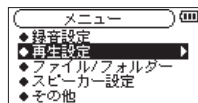
注意

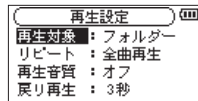
- 録音待機中または録音中は、下記の画面と項目のみ表示されます。

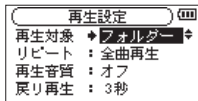
  "録音設定" 画面の **"マイク電源"** 項目および **"低域カット"** 項目
  "入力ミックス" 画面の **"再生レベル"** 項目
  "エフェクト" 画面の全項目
- 再生コントロール画面では、**MENU**ボタンを押しても **"メニュー "** 画面は表示されません。ループ再生機能がオン／オフされます。（→ 62ページ「指定した区間を繰り返し再生する（ループ再生）」）

メニューを使う

再生範囲の設定を変更することを例に説明します。

1. **MENU**ボタンを押して、**"メニュー "** 画面を表示します。

2. **+**ボタンまたは**−**ボタンを使ってメニュー項目を選択（反転表示）し、**►**ボタンを押すと各種設定画面に移動します。

[**"再生設定"** 選択時]

3. **+**ボタンまたは**−**ボタンを使って、設定する項目を選択（反転表示）します。

[**"再生対象"** 選択時]

4. ►►I ボタンまたは► ボタンを押すと、設定内容にカーソルが移動します（反転表示）。

5. ＋ボタンまたは－ボタンを使って、設定を変更します。

6. 同じメニュー内で別の項目を設定する場合は、I◄◄ ボタンを押します。
設定項目選択状態に戻りますので、＋ボタンまたは－ボタンを使って設定したい項目を選択（反転表示）します。

7. 必要に応じて、3. ～ 6.を繰り返して、各項目を設定します。

8. MENUボタンを押すと、**"メニュー"** 画面（または **"その他"** サブメニュー画面）に戻ります。
⏻/｜(HOME)[■] ボタンを押すと、ホーム画面に戻ります。

操作の基本

各種設定画面の操作には、次の操作子を使用します。

MENUボタン

"メニュー" 画面を呼び出します。

PB CONTボタン

再生コントロール画面を呼び出します。

⏻/｜(HOME)[■] ボタン

各設定画面を表示中に ⏻/｜(HOME)[■] ボタンを押すと、ホーム画面に戻ります。確認のポップアップメッセージに対して「いいえ」を選択するときにも使用します。

► ボタン

各設定項目の選択を確定する、または確認のポップアップメッセージに対して「はい」を選択するときに使用します。

►►I ボタン

設定画面内のカーソル（反転表示部）を右に移動するときや、**"ファイル／フォルダー"** 画面でフォルダーを開くときに使用します。

I◄◄ ボタン

設定画面内のカーソル（反転表示部）を左に移動するときや、**"ファイル／フォルダー"** 画面でフォルダーを閉じるときに使用します。

＋ボタン

各項目を画面上方向に移動して選択する、または設定値を高い値／大きい値に変更するときに使用します。

－ボタン

各項目を画面下方向に移動して選択する、または設定値を低い値／小さい値に変更するときに使用します。

QUICKボタン

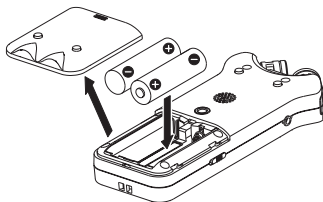
クイックメニュー画面を呼び出します。
"ファイル／フォルダー" 画面および **"再生リスト"** 画面を表示中にポップアップメニューを表示／非表示します。

電源の準備

電源について

本機は、単3形電池2本、別売の専用ACアダプター（TASCAM PS-P515U）または付属のUSBケーブルを使って（USBバスパワー駆動）、本機に電源を供給します。
本機は、単3形アルカリ乾電池、および単3形ニッケル水素電池も使用することができます。

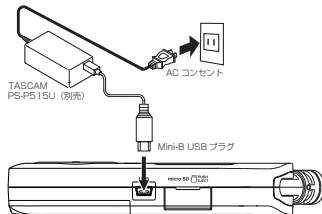
単3形電池で使用する

本機の裏面にある電池ケース蓋をスライドして取り外し、電池ケース内の⊕と⊖の表示に合わせて、単3形電池を2本セットして、電池ケース蓋を取り付けます。

単3形電池で使用するとき、電池の残量表示や正常動作に必要な最低残量を識別するために、電池の種類を設定してください。（→ 78ページ「電池の種類の設定」）

注意

- 単3形マンガン乾電池は、使用できません。
- 本機で単3形ニッケル水素電池を充電することはできません。市販の充電器をご使用ください。
- 付属のアルカリ乾電池は、動作確認用です。そのため寿命が短い場合があります。

ACアダプターで使用する（別売）

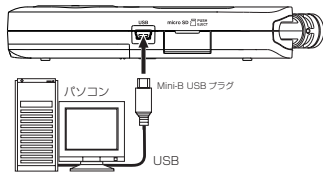
図のように、別売の専用ACアダプター（TASCAM PS-P515U）と本機のUSB端子を付属のUSBケーブルで接続します。

注意

- 必ず別売の専用ACアダプター（TASCAM PS-P515U）をご使用ください。それ以外のものを使用すると故障、火災、感電の原因となります。
- 本体をACアダプターに近づけて使うと、マイク収録時にノイズが発生する場合があります。このようなときには、ACアダプターを本体から離してお使いください。

メモ

電池とACアダプターの両方をセットした場合は、AC アダプターから電源が供給されます。

USBバスパワーで駆動する

図のように、パソコンと本機を付属のUSBケーブルを使って接続します。

電源がオンのときにUSB接続する、またはUSB接続後に電源をオンにすると、USBバスパワーで駆動するか、またはパソコンとUSB接続するかを選択する **"USBモード"** 画面が表示されます。

＋ボタンまたは－ボタンを使って **"電源供給"** を選択（反転表示）し、►ボタンを押すと電源が**USB**端子から供給され、ホーム画面が表示されます。

メモ

電池をセットした状態でUSB接続した場合は、USBから電源が供給されます。（USBバスパワー優先）

電源をオンにする／オフにする

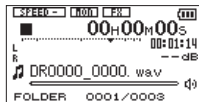
注意

- 別売の専用ACアダプター（TASCAM PS-P515U）使用時、およびパソコンとのUSBバスパワー接続で駆動しているときは、電源をオフにするとスタンバイ状態になります。
- 本機の電源のオン／オフは、本機に接続しているモニターシステムのボリュームを絞った状態で行ってください。
- 電源のオン／オフ時にヘッドホンを装着しないでください。ノイズによっては、スピーカーや聴覚を損傷する恐れがあります。

電源をオンにする

電源がオフ時に、⏻/❙ (HOME)[■]ボタンを長押しし、**"TASCAM DR-07MKII"**（起動画面）が表示されたら放します。

本機が起動してホーム画面が表示されます。

[起動画面]

[ホーム画面]

注意

初回電源投入時（および電池がない状態でしばらく置いたため内蔵時計がリセットされたとき）には、起動画面が表示される前に、日時を設定する **"日時設定"** 画面が表示されます。（→ 30ページ「日

時を設定する」）

電源をオフにする

電源オン時に、⏻/❙ (HOME)[■] ボタンを長押しし、**"LINEAR PCM RECORDER"** と表示されたら放します。
シャットダウン処理が実行されたあとに、電源がオフになります。

注意

電源をオフにするときは、必ず ⏻/❙ (HOME)[■] ボタンで行ってください。
電源がオンのときに電池を外したり、別売の専用ACアダプター（TASCAM PS-P515U）で使用しているときに電源コードを抜いたり、USBバスパワーで使用しているときにUSBケーブルを抜いたりすると録音データや設定などが全て失われます。なお、失われたデータや設定は、復活することができません。

リジューム機能

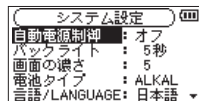
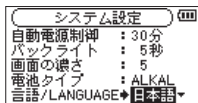
本機は、リジューム機能を搭載しており、電源をオンにしたときに、前回電源をオフにしたときの位置（時間）にロケートされます。
電源投入後、再生ボタンを押すと、電源をオフにしたときの曲の、電源をオフにしたときの位置（時間）から再生することが可能です。

メモ

この内容は、microSDカードに記録されているため、カードを変える、またはSD初期化した場合にはリジュームできません。

表示言語を設定する

ディスプレーに表示される言語を切り換えることができます。

1. MENUボタンを押して、**"メニュー"** 画面を表示します。
2. ＋ボタンまたはーボタンを使って **"その他"** メニュー項目を選択（反転表示）し、►ボタンを押して **"その他"** サブメニュー項目を表示します。
3. ＋ボタンまたはーボタンを使って **"システム設定"** メニュー項目を選択（反転表示）し、►ボタンを押します。
   "システム設定" メニュー画面が表示されます。

4. ＋ボタンまたは－ボタンを使って **"言語 / LANGUAGE"** 項目を選択（反転表示）し、►►Iボタンまたは► ボタンを押します。

5. ＋ボタンまたは－ボタンを使って、ディスプレーに表示する言語を設定します。

選択肢："日本語"、"Eng."

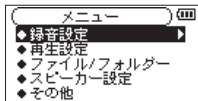
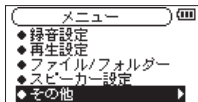
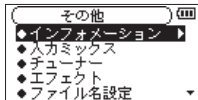
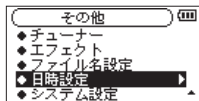
6. ► ボタンを押すと、確認ポップアップメッセージが表示されます。

差替済

7. ► ボタンを押して、言語設定を実行します。
言語選択をしない場合は、⏻/ I **(HOME)** [■] ボタンを押します。

日時を設定する

本機は、本体内の時計をもとに、録音したファイルに日時を記録します。

1. **MENU**ボタンを押して、**"メニュー"** 画面を表示します。

2. ＋ボタンまたは－ボタンを使って **"その他"** メニュー項目を選択（反転表示）し、► ボタンを押します。

"その他" 画面が表示されます。

3. ＋ボタンまたは－ボタンを使って **"日時設定"** メニュー項目を選択（反転表示）し、► ボタンを押します。

"日時設定" 画面が表示されます。

4. I◄◄ボタンまたは►►Iボタンを押して、カーソル（反転表示部）を移動し、＋ボタンまたは－ボタンを使って値を変更します。

5. ► ボタンを押すと確定し、**"その他"** 画面に戻ります。

メモ

ここで設定した日時をファイルの名前に付けることができます。（→80ページ「ファイル名の形式を設定する」）

注意

日時の設定は、電池のない状態または別売の専用ACアダプター（TASCAM PS-P515U）の接続がない状態、USBバスパワーで動作していない状態では、数分しか保持しません。
電池でお使いの場合は、完全に電池がなくなる前に電池交換することをお勧めします。

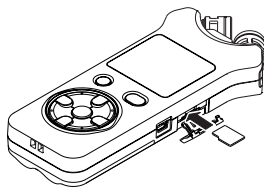
microSDカードを挿入する／取り出す

挿入する

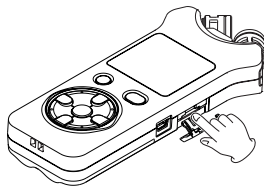
メモ

本機をお買い上げ時、microSDカードスロットにmicroSDカードが挿入されています。このmicroSD カードをそのまま使って録音／再生を行う場合は、改めて挿入し直す必要はありません。

1. 右サイドパネルのmicroSDカードスロットのカバーを開けます。

2. microSDカードを図の方向にカチッと音がするまで差し込みます。

取り出す

1. microSDカードスロットのカバーを開けます。

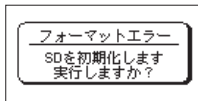
2. microSDカードを軽く押し込んでから放すと手前に出てきます。

注意

- パソコンとUSB接続中、本機からmicroSDカードを取り外さないでください。
- 使用できるmicroSDカードは、microSD/microSDHC規格に対応したカードです。
- TASCAMのウェブサイト（**http://tascam.jp/**）には、当社で動作確認済みのmicroSDカードのリストが掲載されています。

microSDカードを使えるようにする

本機でmicroSDカードを使えるようにするために、本機でSD初期化をする必要があります。

1. microSDカードが挿入されていることを確認し、電源をオンにします。

2. 新しいカード、または本機以外で初期化されたカードを挿入したとき、以下のようなポップアップメッセージが表示されます。

3. ►ボタンを押すと、初期化を開始します。

注意

SD初期化を行うと、カード上のデータは全て失われます。

4. 初期化が終了するとホーム画面に戻ります。また、本機ではいつでも初期化を行うことができます。

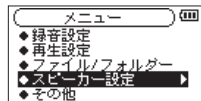
注意

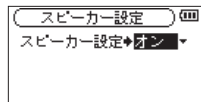
SDの初期化は、別売の専用ACアダプター（TASCAM PS-P515U）を使用するか、パソコンとのUSBバスパワー接続状態で駆動しているときに行うか、電池の残量が十分な状態で行ってください。

内蔵スピーカーで再生する

本機の内蔵スピーカーで再生音を聴く場合は、**"メニュー"** 画面内の **"スピーカー設定"** 設定項目をオンにしてください。

1. **MENU**ボタンを押して、**"メニュー"** 画面を表示します。

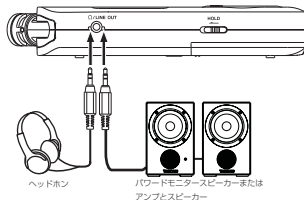
2. **＋**ボタンまたは**ー**ボタンを使って **"スピーカー設定"** メニュー項目を選択（反転表示）し、►ボタンを押します。

"スピーカー設定" 画面が表示されます。

3. **＋**ボタンまたは**ー**ボタンを使って **"オン"** に設定します。

4. 設定が終了したら、**⏻/❙ (HOME)**［■］ボタンを押して、ホーム画面に戻ります。

メモ

録音待機中または録音中のとき、またはヘッドホン／モニターシステムを接続すると、**"スピーカー設定"** 設定が **"オン"** に設定されていても、スピーカーから音は出力されません。

モニター用機器を接続する

ヘッドホンで聴く場合は、Ω /LINE OUT端子にヘッドホンを接続してください。
外部モニターシステム（パワードモニタースピーカーまたはアンプとスピーカー）で聴く場合は、Ω /LINE OUT端子に外部モニターシステムを接続してください。

内蔵ステレオマイクについて

本機のステレオ内蔵マイクは可動式になっており、マイクの角度を変えることができるようになっています。録音のソースと状況またはお好みに合わせて、広がりのあるステレオ録音または位相差を抑えたクリアなステレオ録音を、内蔵マイクを開閉することで選ぶことができます。

広がりのあるステレオ録音設定をする(A-Bポジション)

マイクを左右に開きます（A-Bポジション)。
左右に大きく広がった、ステレオ感あふれる録音が可能です。
内蔵ステレオマイクを使用中にマイクを開閉して、内蔵ステレオマイクの左右設定が、マイクの角度設定と合わなくなったときに、マイクの左右設定を切り換えるかどうかのポップアップメッセージが表示されます。(→35ページ「マイク位置検出について」)

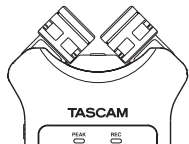
注意

内蔵ステレオマイクの左右設定は、**"L-R"** に設定してください
内蔵ステレオマイク使用時に、マイクを開いたときに左右設定が **"L-R"** になっていないときにはホーム画面に **"R-L"** アイコンが表示されます。(→ 34ページ「内蔵ステレオマイクの左右設定を切り換える」)

クリアなステレオ録音設定をする（X-Yポジション）

マイクを閉じた状態にします（X-Yポジション)。
この設定では、位相差を抑えたクリアなステレオ感のある録音が可能です。
内蔵ステレオマイクを使用中にマイクを開閉して、内蔵ステレオマイクの左右設定が、マイクの角度設定と合わなくなったときに、マイクの左右

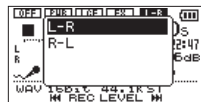
設定を切り換えるかどうかのポップアップメッセージが表示されます。(→ 35ページ「マイク位置検出について」)

注意

内蔵ステレオマイクの左右設定は、**"R-L"** に設定してください
内蔵ステレオマイク使用時に、マイクを閉じたときに左右設定が **"R-L"** になっていないときにはホーム画面に **"L-R"** アイコンが表示されます。（→ 34ページ「内蔵ステレオマイクの左右設定を切り換える」）

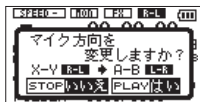
内蔵ステレオマイクの左右設定を切り換える

マイクの角度設定によって、左マイク、右マイクの入れ換えを行います。
左右のマイクが開いているときには左のマイクが左チャンネル、右のマイクが右チャンネルとなる設定（A-Bポジション時：**"L-R"** ）。マイクが閉じているときには左のマイクが右チャンネル、右のマイクが左チャンネルとなる設定（X-Yポジション時：**"R-L"** ）にします。
内蔵ステレオマイク使用時に、この設定になっていない場合は、現在のマイク設定がホーム画面にアイコンで警告表示されます。

1. **RECORD [●]** ボタンを押して、録音待機状態にします。
   RECインジケーターが点滅し、録音画面が表示されます。
2. **QUICK**ボタンを押します。
   クイックメニュー画面が表示されます。

3. **+**ボタンまたは**−**ボタンを使って **"マイク左右切替"** が選択（反転表示）されている状態で、**►**ボタンを押します。
   LRスワップ設定ポップアップ画面が表示されます。

4. **+**ボタンまたは**−**ボタンを使って、マイクの開閉状況に応じて **"L-R"** もしくは **"R-L"** を選択（反転表示）します。
5. **►**ボタンを押すと、選択が確定し、ホーム画面に戻ります。

マイク位置検出について

マイクを開いたり閉じたりして、内蔵ステレオマイクの左右設定が、マイクの角度設定と合わなくなったときに、以下のポップアップメッセージが表示されます。

► ボタンを押すと、設定を変更します。

⏻/❙ (**HOME**)［■］ボタンを押すと、設定を変更しません。

メモ

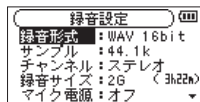
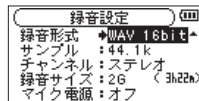
- この画面は、左側のマイクを開閉したときに自動的に表示されます。右側のマイクだけを開閉した場合は、表示されません。
- マイクの角度設定を変えてポップアップメッセージが表示されている場合は、► ボタンを押して **"L-R"** 設定を変更するか、⏻/❙ (**HOME**)［■］ボタンを押して設定を変更しないか、マイクの角度をもとに戻してポップアップメッセージを閉じるまでは、録音を開始することができません。
- 録音中は、マイクの角度設定を変えても、このポップアップ画面は表示されません。**RECORD**［●］ボタンを押して録音待機状態にしてから、**QUICK**ボタンを押して表示されるクイックメニュー画面の **"マイク左右切替"** 項目で切り換えを行ってください。（→ 34ページ「内蔵ステレオマイクの左右設定を切り換える」）

本機は、内蔵ステレオマイクを使った録音の他に、外部マイクあるいは外部オーディオ機器（CDプレーヤーなど）からの信号を録音することができます。録音オーディオファイル形式は、MP3（32k ～ 320kbps、44.1k/48kHz)、WAV（44.1k/48k/96kHz、16/24ビット）から設定可能です。
WAVファイルは、BWFフォーマットに対応していますので、録音中に付けたマークをBWF対応のソフトなどで使用することができます。
また本機では、オーディオファイルを再生しながら入力信号をミックスして別ファイルとして録音することができます（オーバーダビング機能)。

録音形式／サンプリング周波数／チャンネル／最大ファイルサイズを設定する

録音を実行する前に、録音オーディオのファイル形式を設定します。

1. MENUボタンを押して、**"メニュー"** 画面を表示します。

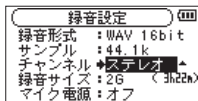
2. ＋ボタンまたはーボタンを使って **"録音設定"** メニュー項目を選択（反転表示）し、►ボタンを押します。
"録音設定" 画面が表示されます。

3. ＋ボタンまたはーボタンを使って **"録音形式"** 項目を選択（反転表示）し、►►|ボタンまたは►ボタンを押します。

ここで録音形式を設定します。
＋ボタンまたはーボタンを使って、以下の中から設定します。

選択肢： **"WAV 16bit"**（初期値）、**"WAV 24bit"**、**"MP3 32k"** bps、**"MP3 64k"** bps、**"MP3 96k"** bps、**"MP3 128k"** bps、**"MP3 192k"** bps、**"MP3 256k"** bps、**"MP3 320k"** bps

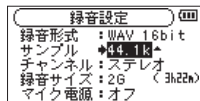
メモ

- WAVの方がMP3よりも高音質で録音ができます。
- MP3の方がWAVよりも長時間録音ができます。
- MP3の場合は、値が大きいほど高音質で録音ができます。

4. |◄◄ボタンを押して、設定項目選択状態にします。

5. ＋ボタンまたはーボタンを使って **"チャンネル"** 項目を選択（反転表示）し、▶▶|ボタンまたは▶ボタンを押します。

ここでは、ステレオファイルかモノラルファイルかを選択します。
＋ボタンまたはーボタンを使って、**"ステレオ"**（初期値）または **"モノラル"** を選択します。
"モノラル" を選択するとモノラルファイルが生成されますが、メーターや出力にはL ／ R両チャンネルに同じ信号が供給されます。
WAV形式の **"モノラル"** を選択した場合は、**"ステレオ"** を選択した場合に対し録音時間が2倍となりますので、長時間録音が可能となります。

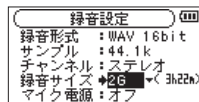
6. |◀◀ボタンを押して、設定項目選択状態にします。

7. ＋ボタンまたはーボタンを使って **"サンプル"** 項目を選択（反転表示）し、▶▶|ボタンまたは▶ボタンを押します。

ここでサンプリング周波数を設定します。
＋ボタンまたはーボタンを使って **"44.1k"**（初期値）、**"48k"**、**"96k"** の中から設定します。

メモ

録音形式がMP3のときは、**"96k"** は選択できません。

8. |◀◀ボタンを押して、設定項目選択状態にします。

9. ＋ボタンまたはーボタンを使って **"録音サイズ"** 項目を選択（反転表示）し、▶▶|ボタンまたは▶ボタンを押します。

ここで最大ファイルサイズを設定します。
＋ボタンまたはーボタンを使って **"64M"**、**"128M"**、**"256M"**、**"512M"**、**"1G"**、**"2G"**（初期値）の中から設定します。

メモ

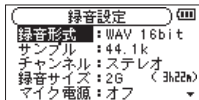
- 録音中に、**"録音設定"** 画面で設定した最大ファイルサイズを超えると、新たな別のファイルとして録音を継続します。
- 録音形式によって、同じ最大ファイルサイズにおける録音時間が異なります。この値は、設定値の右の括弧内に表示されます。
- 録音時間が24時間を超える場合は、自動的に停止します。

10. 設定が終了したら、**⏻/ | (HOME)** [■] ボタンを押して、ホーム画面に戻ります。

ファイルの保存先を設定する

録音したファイルの保存するフォルダーを設定します。録音したファイルは、カレントフォルダー（現在選択されているフォルダー）に録音されます。
詳細は、54ページ「フォルダー操作」の **"選択"** ポップアップメニュー項目を参照してください。
特に指定しない場合は、**《MUSIC》**フォルダーの下にファイルが作成されます。

入力の設定をする

1. MENUボタンを押して、**"メニュー"** 画面を表示します。
2. ＋ボタンまたはーボタンを使って **"録音設定"** メニュー項目を選択（反転表示）し、►ボタンを押します。
   "録音設定" 画面が表示されます。

この画面で、入力に関する以下の項目を設定します。
⏮ボタン／⏭ボタン、および＋ボタン／ーボタンを使って、各項目の設定を行います。

マイク電源：
プラグインパワーを必要とする外部マイクを接続したとき、**"オン"** に設定します。（初期値：**"オフ"**）

低域カット：
マイク入力時の低域カットフィルターを設定します。カットオフ周波数は **"40Hz"**、**"80Hz"** または **"120Hz"** から選択できます。（初期値：**"オフ"**）

注意

- ダイナミックマイクや電池内蔵の外部マイクを接続するときは、**"マイク電源"** 項目を **"オフ"** に設定してください。**"オン"** にすると接続したマイクの故障の原因になる恐れがあります。
- マイクを使って録音を行うときは、モニターシステムにヘッドホンを使って行ってください。スピーカーを使ってモニターすると、スピーカーの出力音が入力されて、正常な音で録音できない、またはハウリング（フィードバック）を起こす可能性があります。

メモ

"マイク電源" と **"低域カット"** の項目は、録音中および録音待機中でも設定／変更することができます。

ヒント

- **"低域カット"** を使用すると空調機やプロジェクターなどによるノイズや耳障りな風切音などのノイズを低減することができます。
- 本機には、エフェクターが内蔵され、必要に応じて入力ソースにかけることができます。（→ 71ページ「第8章　エフェクター」）

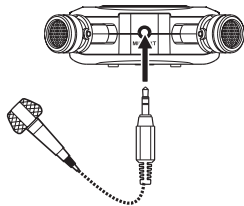
設置または接続をする

内蔵ステレオマイクで録音する

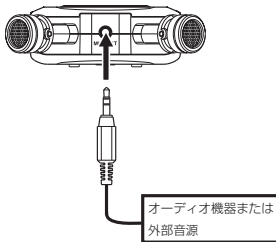
内蔵ステレオマイクを音源の方向へ向け、振動の少ない、安定した場所に設置してください。

外部マイクで録音する（MIC IN）

外部マイクを本機の**MIC/EXT IN**端子に接続します。
外部マイクを音源の方向へ向け、振動の少ない、安定した場所に設置してください。

メモ

外部マイク使用時は、内蔵ステレオマイクおよびマイクの左右設定は無効となります。

外部機器から録音する（EXT IN）

ステレオミニプラグケーブルを使用して、外部オーディオ機器（ポータブルCDプレーヤーのヘッドホン端子など）の出力と接続します。

注意

- 本機の入力レベルを調節しても、入力された音が歪んでいる場合は、外部機器の再生音量を小さくしてください。
- 外部機器の出力レベルを調節できないライン出力を接続した場合は、音量が大きい音源などではレベルオーバーとなり、調節できない場合があります。その場合には、レベル調節可能なヘッドホン端子などを接続してください。

メモ

外部マイク使用時は、内蔵ステレオマイクおよびマイクの左右設定は無効となります。

入力レベルを調節する

録音した曲が、入力が大きすぎて歪んでいたり、小さすぎてノイズに埋もれてしまったりするのを避けるために、録音する前に入力レベルを調節する必要があります。
手動で調節する機能の他にピーク検出、自動レベル調節、リミッターの3つの入力レベル制御機能もありますので、お好みに応じてお使いください。

ヒント

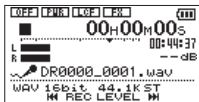
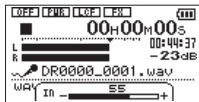
入力レベルの調節だけでなく、マイクと音源との距離や向きを調節してみてください。また、マイクの向きや音源との距離によって音質が変わります。

手動で入力レベルを調節する

入力のレベルを調節します。

注意

入力レベル制御機能の自動レベル調整を選択（録音画面の左上に"AUTO"が点灯）しているときは、手動での調節はできません。手動で入力レベルを調節するためには、入力レベル制御設定画面で **"オフ"** または他のモードを選択してください。（→ 40ページ「入力レベル制御機能を使う」）

1. **RECORD** [●] ボタンを押して、録音待機状態にします。
RECインジケーターが点滅し、録音画面が表示されます。

2. ⏮ボタンまたは⏭ボタンを使って、入力レベルを調節します。⏮ボタンまたは⏭ボタンを押すと、入力レベル設定状態を表すメーターがディスプレーの下部にプルアップ表示されます。

録音する音のレベルが歪む直前になると、ディスプレーの左上にある**PEAK**インジケーターが赤く点灯します。
レベルメーターには、－12dBの位置に **"▼"** の目印が付いています。この目印を中心にレベルが変化し、かつ**PEAK**インジケーターが赤く点灯しないように録音レベルを設定してください。

メモ

- 録音待機状態を解除するには、**⏻/❙(HOME)**[■] ボタンを押します。
- 録音待機中や録音中は、**"スピーカー設定"** 項目の設定がオンの場合でもスピーカーから音は出ません。モニター音を聴きながら入力レベル調節や録音を行う場合は、ヘッドホンを本機の **Ω /LINE OUT**端子に接続してください。
モニター音は、ホーム画面表示中に**＋**ボタンまたは**－**ボタンで調節できます。モニター音量を変えても録音される音には、影響ありません。

入力レベル制御機能を使う

マイク入力時の録音入力レベル制御機能を設定します。

1. **RECORD** [●] ボタンを押して、録音待機状態にします。
RECインジケーターが点滅し、録音画面が表示されます。

2. **QUICK**ボタンを押します。
クイックメニュー画面が表示されます。

3. +ボタンまたは－ボタンを使って **"入力レベル制御"** を選択（反転表示）し、►ボタンを押します。
入力レベル制御設定画面が表示されます。

選択肢："オ フ"（初期値）、**"ピーク検出"**、**"自動レベル調整"**、**"リミッター"**

4. ＋ボタンまたは－ボタンを使って機能を選択（反転表示）し、►ボタンを押すと機能が有効になり、録音画面に戻ります。
選択されている機能は、録音画面にアイコンで表示されます。

ピーク検出（PEAK REDUCTION）

入力音が大きすぎたときに、録音レベルを適度なレベルまで自動で下げる機能です。これにより難しい録音レベルの設定を簡単に行うことができます。

録音レベルを上げたいときは、手動で行うことができます。

ヒント

たとえば、バンド演奏を録音するとき、実際に録音する前にピーク検出のリハーサルを行うことができます。
録音待機状態でピーク検出モードを選択し、録音レベルを最大にします。ここでリハーサル演奏を行うと、入力音に応じて適度なレベルまで録音レベルが下げられ、演奏に合わせた録音レベルが設定されます。
録音を開始する前にオフすれば設定された録音レベルで録音することができます。また、そのまま録音を行えば録音中も入力音に応じて録音レベルを自動調節できます。
ピーク検出モードで録音レベルを自動設定したあと、リミッターモードで録音することもできます。

自動レベル調整（AUTO LEVEL）

入力音が小さいときは大きく、大きいときは小さくなるように録音レベルを自動で調節するため、会議録音などに適しています。このモードでは、手動で録音レベルを変更することはできません。

リミッター（LIMITTER）

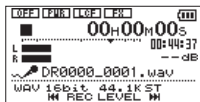
突発的な過大入力による歪みを防ぐ機能です。
音量変化が激しいライブ録音などに適しています。
このモードでは、録音中でも手動で録音レベルを変更することができます。

注意

入力音が大きすぎるとリミッターをオンにしても歪んでしまう場合があります。そのときは、手動で入力レベルを下げるか、音源から本体を離してください。

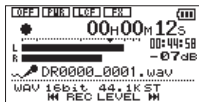
録音する

以下の操作手順は、すでに入力ソースが設定され、入力レベル調節を行い、ホーム画面が表示されていることを前提にしています。

1. RECORD ［●］ボタンを押して、録音待機状態にします。

録音画面の下側には、録音ファイル名とともに、入力ソース、録音オーディオファイル形式およびサンプリング周波数が表示されますので、録音を開始する前に確認することができます。

メモ

入力ミックスをオンにしているときは、オーバーダビングをオン／オフ設定するポップアップメニューが表示されます。この場合には、**"オフ"** を選択（反転表示）した状態で次の手順**2.**に進んでください。

2. 再度**RECORD** ［●］ボタンを押します。通常の録音が始まります。

録音が始まると**REC**インジケーターが点灯し、ディスプレーには、録音経過時間および録音残時間が表示されます。

3. 録音を終了するには、**⏻/|(HOME)**［■］ボタンを押します。
録音を一時停止するには、**RECORD** ［●］ボタンを押します。再度**RECORD** ［●］ボタンを押すと、同じファイルに続きが録音されます。
一時停止後に **⏻/|(HOME)**［■］ボタンを押すと、一時停止までを録音したオーディオファイルが作成されます。

メモ

本機は、**RECORD** ［●］ボタンの操作音が録音されるのを避けるため、録音開始時に**RECORD** ［●］ボタンが押されてから約0.3秒後（時間固定）に録音が開始されます。（レックディレイ機能）

注意

本体をACアダプターに近づけて使うと、マイク収録時にノイズが発生する場合があります。このようなときには、ACアダプターを本体から離してお使いください。

再生音に入力音を重ねて録音する（オーバーダビング）

すでに録音したファイルを再生しながら、その再生音に入力音を重ねて新しいファイルとして録音することができます。

メモ

- 入力ミックスがオフのときオーバーダビングはできません。
- オーバーダビングをするために入力ミックスをオンにした場合、事前録音機能は無効になります。
- 自動録音機能をオンにしたときは、オーバーダビングはできません。
- オーバーダビング中は、手動でファイルを更新することはできません。
- オーバーダビング中は、一時停止はできません（**RECORD** [●] ボタン操作を受け付けません）。
- オーバーダビングは、サンプリング周波数の設定にかかわらず、再生ファイルのサンプリング周波数となります。
- サンプリング周波数が96kHzのWAVファイルをオーバーダビングするときには、MP3ファイルにすることはできません。

入力音を重ねるファイルを選択する

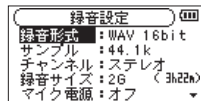
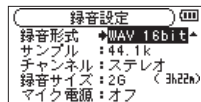
1. **⏮** ボタン、**⏭** ボタン、もしくは **“ファイル／フォルダー ”** 画面で、音を重ねたいファイルを選択します。

メモ

“ファイル／フォルダー ” 画面を使ってのファイルの選択は、53ページ「第5章　ファイルやフォルダーの操作（ファイル／フォルダー画面）」を参照してください。

録音形式を設定する

1. **MENU**ボタンを押して、**“メニュー ”** 画面を表示します。
2. **＋**ボタンまたは**－**ボタンを使って **“録音設定”** メニュー項目を選択（反転表示）し、**►** ボタンを押します。
   “録音設定” 画面が表示されます。

録音設定
録音形式 : WAV 16bit
サンプル : 44.1k
チャンネル : ステレオ
録音サイズ : 2G （3h22m）
マイク電源 : オフ

3. **＋**ボタンまたは**－**ボタンを使って **“録音形式”** 項目を選択（反転表示）し、**⏭** ボタンまたは **►** ボタンを押します。

4. **＋**ボタンまたは**－**ボタンを使って、録音形式を設定します。
5. 設定が終了したら、**⏻／❙ (HOME)** [■] ボタンを押して、ホーム画面に戻ります。

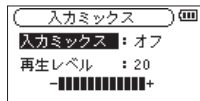
再生音と入力の音を同時に聴く（入力ミックス）

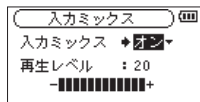
再生音と入力の音を同時に聴くことができるように設定します（入力ミックス）。

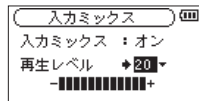
注意

入力ミックスをオンにすると、事前録音機能は無効になります。

1. **MENU**ボタンを押して、**"メニュー"** 画面を表示します。
2. ＋ボタンまたは－ボタンを使って **"その他"** メニュー項目を選択（反転表示）し、►ボタンを押します。
   "その他" サブメニューを表示します。
3. ＋ボタンまたは－ボタンを使って **"入力ミックス"** メニュー項目を選択（反転表示）し、►ボタンを押します。
   "入力ミックス" 画面が表示されます。

入力ミックス
入力ミックス ：オフ
再生レベル ：20

4. ＋ボタンまたは－ボタンを使って **"入力ミックス"** 項目を選択（反転表示）し、►►Iボタンまたは►ボタンを押します。
5. ＋ボタンまたは－ボタンを使って、**"オン"** に設定します。（初期値：**"オフ"**）

入力ミックス
入力ミックス オン
再生レベル ：20

   これで入力音のモニターが可能になります。
6. I◄◄ボタンを押して、設定項目選択状態にします。
7. ＋ボタンまたは－ボタンを使って **"再生レベル"** 項目を選択（反転表示）し、►►Iボタンまたは►ボタンを押します。

入力ミックス
入力ミックス ：オン
再生レベル 20

8. ＋ボタンまたは－ボタンを使って、再生音のレベルを調節します。設定範囲は、**"0"** ～ **"20"** です。
9. 設定が終了したら、**⏻/I (HOME)** [■] ボタンを押して、ホーム画面に戻ります。

メモ

"入力ミックス" 画面の **"入力ミックス"** 項目のオン／オフの設定は、録音中または録音待機中にはできません。

ヒント

入力ミックスをオンにすると、オーバーダビング以外に、録音した（あるいは取り込んだ）オーディオファイルに合わせて歌や楽器の練習する、またはカラオケを楽しむことができます。

入力レベルを調節する（簡易調節）

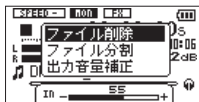
入力ミックス（ **"入力ミックス"** 画面の **"入力ミックス"** 項目）がオンになっているときは、クイックメニュー画面で入力レベルを簡易的に調節することができます。

メモ

クイックメニュー画面では、レベルメーターが隠れる仕様になっています。このため、レベルメーターを見ながらの調節はできません。

1. ホーム画面で停止中または再生中に**QUICK**ボタンを押します。
   クイックメニュー画面が表示されます。

[停止中のクイックメニュー画面]

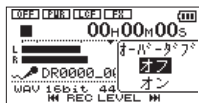
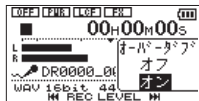
2. 入力音を聴きながら、⏮ボタンまたは⏭ボタンを使って、入力レベルを調節します。
   ⏮ボタンまたは⏭ボタンを押すと、入力レベル設定状態を表すメーターがディスプレーの下部にプルアップ表示されます。

注意

- 入力ミックスがオフになっているときは、⏮ボタンまたは⏭ボタンを押してもメーターはプルアップ表示されません。
- 入力音のレベルが歪む直前になると、ディスプレーの左上にある**PEAK**インジケーターが赤く点灯しますので、**PEAK**インジケーターが赤く点灯しないように録音レベルを設定してください。

メモ

入力ミックスがオンのときやオーバーダビング中の**PEAK**インジケーターは、入力音と再生音をミックスした信号のレベルで点灯します。

オーバーダビングを実行する

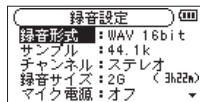
1. **RECORD**［●］ボタンを押して、録音待機状態にします。
   録音画面にオーバーダビングをオン／オフ設定するポップアップメニューが表示されます。
   また、録音ファイル名、入力ソース、録音オーディオファイルの形式／サンプリング周波数が表示されますので、録音を開始する前に確認することができます。

2. **＋**ボタンまたは**ー**ボタンを使って、オーバーダビングをオン／オフ設定するポップアップメニュー上の **"オン"** を反転表示します。（初期値：**"オフ"**）

3. RECORD［●］ボタンを押します。
オーバーダビングが始まります。
録音が始まるとRECインジケーターが点灯し、録音画面には録音経過時間および録音残時間が表示されます。
再生可能なファイルが選択されていないときは、次のようなポップアップメッセージが表示されます。

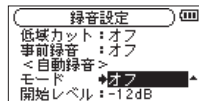
4. 録音を終了するには、⏻/Ι (HOME)［■］ボタンを押します。

録音機能を自動で動作させる（自動録音）

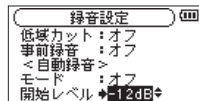
入力音のレベルに応じて、録音の開始や一時停止とファイルの更新、マークの設定を自動で行う機能です。

1. MENUボタンを押して、**"メニュー"** 画面を表示します。

2. ＋ボタンまたは－ボタンを使って **"録音設定"** メニュー項目を選択（反転表示）し、►ボタンを押します。
"録音設定" 画面が表示されます。

3. ＋ボタンまたは－ボタンを使って **"モード"** 項目を選択（反転表示）し、►►Ιボタンまたは►ボタンを押します。

4. ＋ボタンまたは－ボタンを使って、**"自動録音"** モードを設定します。

"オフ"（初期値）**：**オフ
"自動録音"：自動で録音と停止を行うモード
"自動マーク"：録音中に自動でマークを付けるモード

5. Ι◄◄ボタンを押して、設定項目選択状態にします。

6. ＋ボタンまたは－ボタンを使って **"開始レベル"** 項目を選択（反転表示）し、►►Ιボタンまたは►ボタンを押します。

7. ＋ボタンまたは－ボタンを使って、信号が入力されたと判断する基準レベルを **"-6dB"** 、**"-12dB"**（初期値）、**"-24dB"** 、**"-48dB"** の中から設定します。

8. 設定が終了したら、**⏻/I (HOME)** [■] ボタンを押して、ホーム画面に戻ります。

9. **RECORD** [●] ボタンを押し、録音待機状態にします。入力音が **"開始レベル"** 項目で設定した基準レベルを上回ると自動で録音を開始します。

10. 録音中の動作は **"モード"** の設定により、次のようになります。

"自動録音" のとき：

入力音が **"開始レベル"** 項目で設定した基準レベルを5秒以上にわたって下回ると録音待機状態になり、その後入力音が基準レベルを上回ると新しいファイルに録音を再開します。

"自動マーク" のとき：

入力音が **"開始レベル"** 項目で設定した基準レベルを5秒以上にわたって下回ったあとに、入力音が基準レベルを上回るとその位置にマークを付けます。

11. 録音を停止させる場合は、**⏻/I (HOME)** [■] ボタンを押してください。

ヒント

事前録音機能と組み合わせることにより、出音の部分を欠かすことなく録音できます。

注意

- 自動録音機能をオンにしたときは、オーバーダビングはできません。
- 自動録音機能がオンのときには、セルフタイマーは使用できません。

録音中にファイルを切り換えて録音を続ける（トラックインクリメント）

録音中に手動で、または **"録音設定"** 画面にて設定した最大ファイルサイズになったときに自動的に現在のファイルへの録音を停止し、新しいファイルに録音を継続することができます。（トラックインクリメント機能）

録音中に手動でトラックインクリメントする

録音中に、いつでも簡単に手動でファイルを更新し、録音を継続することができます。

1. 録音中に、**QUICK**ボタンを押します。

メモ

新しいファイルが作成されると、ファイル名の末尾の数字が繰り上がります。

注意

- フォルダーとファイルの総数が5000個を超える場合は、新たなファイルは作成できません。
- 録音時間が2秒以内のファイルを作成することはできません。
- 新たに作成するファイルのファイル名がすでに存在する場合は、さらに数字が繰り上がります。
- オーバーダビング中は、トラックインクリメントはできません。

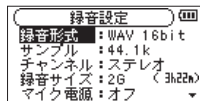
ファイルサイズで自動的にトラックインクリメントする

録音中に、**"録音設定"** 画面にて設定した最大ファイルサイズに達すると、自動的に現在のファイルへの録音を停止し、新しいファイルに録音を継続します。

以下の手順で最大ファイルサイズの設定を行います。

1. **MENU**ボタンを押して、**"メニュー"** 画面を表示します。

2. ＋ボタンまたは－ボタンを使って **"録音設定"** メニュー項目を選択（反転表示）し、►ボタンを押します。

"録音設定" 画面が表示されます。

3. ＋ボタンまたは－ボタンを使って **"録音サイズ"** 項目を選択（反転表示）し、►►Iボタンまたは►ボタンを押します。

＋ボタンまたは－ボタンを使って、自動でトラックインクリメントする最大ファイルサイズを **"64M"**、**"128M"**、**"256M"**、**"512M"**、**"1G"**、**"2G"**（初期値）の中から設定します。

4. 設定が終了したら、**⏻/I (HOME)[■]** ボタンを押して、ホーム画面に戻ります。

注意

フォルダーとファイルの総数が5000個を超える場合は、新たなファイルは作成できません。

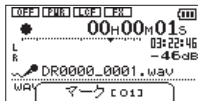
メモ

録音形式によっては、同じ最大ファイルサイズにおける録音時間が異なります。また、録音時間が24時間以上の場合は、23時間59分59秒として表示されます。

マーク機能

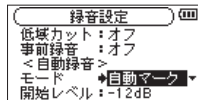
録音中に手動でマークを付ける

録音中に手動で任意の位置にマークを付けることができます。

1. 録音中に**MARK**ボタンを押します。
マーク番号がディスプレーの下部にプルアップ表示されます。

メモ

- マークは、ファイルごとに **"01"** ～ **"99"** まで設定でき、ファイルにマークの情報を記録します。
- 本機で録音したWAVファイルは、BWFフォーマットに対応しているため、録音中に付けたマークの情報はファイルへ保存されます。BWF対応ソフトなどで、このマーク情報を使用することができます。

録音中に自動でマークを付ける

自動録音機能により自動でマークを付けるように設定することができます。
"録音設定" 画面内 **"自動録音"** 設定の **"モード"** 項目を **"自動マーク"** に設定します。

詳細は、46ページ「録音機能を自動で動作させる（自動録音）」を参照してください。

マークの位置への移動

停止中または再生中に、選択されているファイルに挿入されているマークの位置へ移動することができます。
頭出しのためのインデックスのように使用することができます。

1. 停止中または再生中に**MARK**ボタンを押しながら、◀◀ボタンまたは▶▶ボタンを押します。

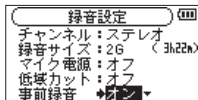
メモ

異なるファイルのマークへの移動はできません。

録音開始の少し前から録音する（事前録音）

録音待機中に入力される信号を最大2秒間録音しておき、録音開始時に最大2秒前からの信号を録音することができます。

1. MENUボタンを押して、**"メニュー"** 画面を表示します。
2. ＋ボタンまたはーボタンを使って **"録音設定"** メニュー項目を選択（反転表示）し、►ボタンを押します。
   "録音設定" 画面が表示されます。
3. ＋ボタンまたはーボタンを使って **"事前録音"** 項目を選択（反転表示）し、►►Iボタンまたは►ボタンを押します。
4. ＋ボタンまたはーボタンを使って、**"オン"** に設定します。（初期値：**"オフ"**）

録音設定
チャンネル：ステレオ
録音サイズ：2G　（3h22m）
マイク電源：オフ
低域カット：オフ
事前録音　オン

5. 設定が終了したら、**⏻/I (HOME)[■]** ボタンを押して、ホーム画面に戻ります。

ヒント

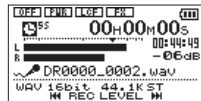
自動録音機能と組み合わせることにより、出音の部分を欠かすことなく録音できます。

メモ

- 録音待機状態になってから2秒以内に録音を開始した場合は、録音待機状態にした時点からの録音となります。
- 事前録音機能を使用してのオーバーダビングはできません。オーバーダビングを行うときは、事前録音機能は無効になります。

セルフタイマー機能

カメラのセルフタイマーのように、設定時間経過後に録音を開始するように設定ができます。

1. 停止中または再生中に**RECORD [●]** ボタンを押して録音待機状態にし、**PB CONT**ボタンを押します。
2. レコーダーの動作状態表示部が、セルフタイマーアイコン **"🕒"** に変わり、その右に時間が表示されます。
   PB CONTボタンを押すたびに、以下のように設定が変わります。
   "🕒" アイコン右の時間表示
   "OFF"（初期値）→ **"5S"**（5秒）→ **"10S"**（10秒）→ **"OFF"**

3. 時間を設定後、**RECORD [●]** ボタンまたは►ボタンを押します。
   設定時間経過後、録音が開始されます。

メモ

- 録音中に一時停止したときには、セルフタイマー機能は使用できません。
- 自動録音機能がオンのときには、セルフタイマーは使用できません。

録音時間について

各ファイルフォーマットにおける、microSD/microSDHCカード容量別の録音時間を以下の表に示します。

ファイルフォーマット（録音時の設定）			microSD ／ microSDHCカード容量			
			1GB	2GB	4GB	8GB
WAV16ビット（STEREO）		44.1kHz	1時間41分	3時間22分	6時間44分	13時間28分
		48kHz	1時間33分	3時間06分	6時間12分	12時間24分
		96kHz	46分	1時間33分	3時間06分	6時間12分
WAV24ビット（STEREO）		44.1kHz	1時間07分	2時間15分	4時間30分	9時間00分
		48kHz	1時間02分	2時間04分	4時間08分	8時間16分
		96kHz	31分	1時間02分	2時間04分	4時間08分
MP3（STEREO ／ MONO）	32kbps	44.1kHz ／ 48kHz	74時間32分	149時間04分	298時間08分	596時間16分
	64kbps	44.1kHz ／ 48kHz	37時間16分	72時間32分	149時間04分	298時間08分
	96kbps	44.1kHz ／ 48kHz	24時間50分	49時間40分	99時間20分	198時間40分
	128kbps	44.1kHz ／ 48kHz	18時間38分	37時間16分	74時間32分	149時間04分
	192kbps	44.1kHz ／ 48kHz	12時間25分	24時間50分	49時間40分	99時間20分
	256kbps	44.1kHz ／ 48kHz	9時間19分	18時間37分	37時間16分	74時間32分
	320kbps	44.1kHz ／ 48kHz	7時間27分	14時間54分	29時間48分	59時間36分

- 上記録音時間は目安です。ご使用のmicroSD ／ microSDHCカードにより異なる場合があります。
- 上記録音時間は連続録音時間ではなく、microSD ／ microSDHCカードに可能な録音合計時間です。
- WAV形式のMONO録音の場合は、上記録音時間の約2倍の時間となります。

"ファイル／フォルダー" 画面では、microSDカード上の **"MUSIC"** フォルダー（オーディオファイルの収納フォルダー）の内容を見ることができます。また、この画面で選択したオーディオファイルの再生や削除、フォルダーの作成や再生リストへの登録などができます。（→ 58ページ「再生リスト」）

ヒント

本機とパソコンをUSB接続するか、あるいはmicroSDカードを直接パソコンにセットすることにより、パソコンからも **"MUSIC"** フォルダー内のフォルダー構成の変更やファイルの削除ができます。さらにパソコンからはファイル名の編集が可能です。

"ファイル／フォルダー" 画面を表示するには、MENUボタンを押して **"メニュー"** 画面を表示し、＋ボタンまたはーボタンを使って **"ファイル／フォルダー"** メニュー項目を選択（反転表示）し、►ボタンを押します。

この画面には、**"ファイル／フォルダー"** 画面を表示する前に、ホーム画面で選択されていたファイルを含むフォルダーの内容が表示されます。

ファイル／フォルダー画面内のナビゲーション

"ファイル／フォルダー" 画面には、パソコンにおけるファイルのリスト表示のように、フォルダーや音楽ファイルが「階層ツリー形式」で表示されます。フォルダーは、第2階層まで作成できます。

- ＋ボタンまたはーボタンを使って、ファイルやフォルダーを選択します。
- フォルダーを選択中に►►Iボタンを押すと、フォルダーの内容が表示されます。
- ファイルやフォルダーを選択中にI◄◄ボタンを押すと、現在開いているフォルダーが閉じて、上位の階層レベルが表示されます。
- フォルダーやファイルを選択中にQUICKボタンを押すと、ポップアップメニューが表示されます。
- ファイルを選択中に►ボタンを押すと、ホーム画面に戻りそのファイルが再生されます。
  このファイルを含むフォルダーがカレントフォルダー（現在選択されているフォルダー）になり、録音したファイルはここに記録されるようになります。また、再生範囲設定が **"フォルダー"** の場合は、このフォルダーが再生範囲になります。
- フォルダーが選択中（反転表示中）に►ボタンを押すと、ホーム画面に戻り、そのフォルダーの最初のファイル（リスト表示したときに一番上に表示されるファイル）が再生されます。
  このフォルダーがカレントフォルダー（現在選択されているフォルダー）になり、録音したファイルはここに記録されるようになります。また、直前の再生範囲設定にかかわらず、再生範囲設定が **"フォ**

ルダー ”になり、このフォルダーが再生範囲になります。

ファイル／フォルダー画面内のアイコン表示

以下に **“ファイル／フォルダー ”** 画面内のアイコン表示内容を説明します。

MUSIC フォルダー（ R ）MUSIC

ルート（ROOT）階層表示中の **“ファイル／フォルダー ”** 画面では、最上段に **“MUSIC”** フォルダーが表示されます。

オーディオファイル（ ♫ ）

音楽ファイルは、**“ ♫ ”** アイコンのあとにファイル名が表示されます。

フォルダー（ ⊞ ）

内部にフォルダーが存在するフォルダーです。

フォルダー（ □ ）

内部にフォルダーが存在しないフォルダーです。

表示中のフォルダー（ ⊟ ）

現在、このフォルダーの内容を画面表示しています。

ファイル操作

“ファイル／フォルダー ” 画面内の希望のオーディオファイルを選択（反転表示）し、**QUICK**ボタンを押すと、以下のポップアップメニューが表示されます。

＋ボタンまたは**ー**ボタンを使って希望の項目を選択（反転表示）し、**►**ボタンを押すと、本機が以下の動作を行います。

ファイル情報

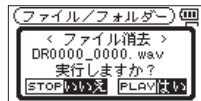
選択したファイルの情報（日付、サイズ）が表示されます。再度**►**ボタンを押すか、**⏻/❙ (HOME)**[■] ボタンを押すと、**“ファイル／フォルダー ”** 画面に戻ります。

リスト登録

再生リストに選択したファイルを登録します。（→ 58ページ「再生リスト」）

ファイル消去

選択したファイルを削除する確認のポップアップメッセージが表示されます。

►ボタンを押すとファイルが削除され、**⏻/❙ (HOME)**[■] ボタンを押すと削除が中止されます。

キャンセル

選択中のファイルに関する操作をキャンセルしポップアップメニューを閉じます。

メモ

QUICKボタンを押すことでポップアップメニューを閉じることもできます。

フォルダー操作

"ファイル／フォルダー " 画面内の希望のフォルダーを選択し、**QUICK**ボタンを押すと、以下のポップアップメニューが表示されます。

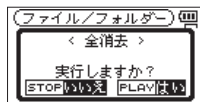
+ボタンまたは**−**ボタンを使って希望の項目を選択（反転表示）し、►ボタンを押すと本機が以下の動作を行います。

フォルダー選択

ホーム画面に戻り、選択したフォルダー内の最初のファイルが選択されます。直前の再生範囲設定にかかわらず、再生範囲設定が **"フォルダー "** になり、このフォルダーが再生範囲になります。また、この操作で選択されたフォルダーに、録音したファイルが保存されます。

フォルダー内消去

選択したフォルダー内のファイルを一括削除する確認のポップアップメッセージが表示されます。

►ボタンを押すとファイルが削除され、**⏻/❙ (HOME)**［■］ボタンを押すと削除が中止されます。

メモ

書き込み禁止ファイルや本機で認識されていないファイルは、削除されません。

キャンセル

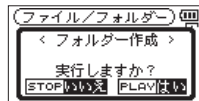
選択中のフォルダーに関する操作をキャンセルしポップアップメニューを閉じます。

メモ

QUICKボタンを押すことでポップアップメニューを閉じることもできます。

新しいフォルダーを作る

各フォルダーの一番下に、**"フォルダー作成"** があります。

"フォルダー作成" を選択（反転表示）し、►ボタンを押します。新たなフォルダーを作成する確認のポップアップメッセージが表示されます。

►ボタンを押すとフォルダーが作成され、**⏻/❙ (HOME)**［■］ボタンを押すと作成が中止されます。ただし、本機では3階層以上のフォルダーを扱うことはできないため、第2階層のフォルダーには **"フォルダー作成"** はありません。新規に作成されたフォルダーがカレントフォルダー（現在選択されているフォルダー）になり、録音したファイルはここに記録されるようになります。また、再生範囲設定が **"フォルダー "** の場合は、このフォルダーが再生範囲になります。

ホーム画面上では、⏮ボタンまたは⏭ボタンを使って再生する曲（ファイル）を選びます。このときに選択可能なファイルの範囲を「再生範囲」として設定することができます。カード上に数多くのファイルが記録されている場合など、選択範囲を限定することにより選択がやりやすくなります。
"再生設定" 画面で、再生範囲を全ファイル、現在のフォルダー、再生リストの中から選択することができます。また、**"ファイル／フォルダー "** 画面を使って希望のフォルダーを再生範囲に設定することができます。

メモ

"ファイル／フォルダー " 画面では、再生範囲設定にかかわらず、カード上の希望のファイルを選択することができます。

再生の音量を調節する

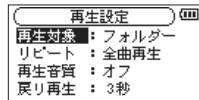
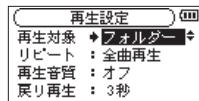
内蔵スピーカーまたは Ω /LINE OUT端子から出力される音量を、ホーム画面表示中に＋ボタンまたは－ボタンを使って調節します。
このとき、ボリューム位置がディスプレーの下部にプルアップ表示されます。

再生範囲を設定する（再生対象）

"再生設定" 画面で再生範囲を設定することができます。

1. MENUボタンを押して、**"メニュー "** 画面を表示します。

2. ＋ボタンまたは－ボタンを使って **"再生設定"** メニュー項目を選択（反転表示）し、►ボタンを押します。
"再生設定" 画面が表示されます。

再生設定
再生対象 ：フォルダー
リピート ：全曲再生
再生音質 ：オフ
戻り再生 ：3秒

3. ＋ボタンまたは－ボタンを使って **"再生対象"** 項目を選択（反転表示）し、⏭ボタンまたは►ボタンを押します。

4. ＋ボタンまたは－ボタンを使って、再生範囲を設定します。

全ファイル：
microSDカード上のMUSICフォルダー内の全ファイルを再生することができます。

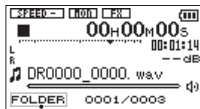
フォルダー（初期値）**：**
現在選ばれているファイルが含まれているフォルダー内のファイルを再生することができます。

再生リスト：
再生リストに登録されている

ファイルを再生することができます。（→ 58ページ「再生リスト」）
再生リストが存在しない場合は、ポップアップメッセージ **"再生リストがありません"** を表示します。

5. 設定が終了したら、⏻/I (HOME)[■] ボタンを押して、ホーム画面に戻ります。

メモ

再生範囲の現在の設定が、ホーム画面左下部に表示されます。

再生範囲表示

ファイル／フォルダー画面を使って再生範囲のフォルダーを選択する（1）

現在の再生範囲にかかわらず、**"ファイル／フォルダー"** 画面でフォルダーを選択すると、選択したフォルダーが再生範囲になります。

1. MENUボタンを押して、**"メニュー"** 画面を表示します。

2. ＋ボタンまたはーボタンを使って **"ファイル／フォルダー"** メニュー項目を選択（反転表示）し、►ボタンを押します。
"ファイル／フォルダー" 画面が表示されます。

ホーム画面で選択されていたファイルを含むフォルダーの内容が表示されます。

3. ◄◄ボタンまたは►►ボタンを使って階層を移動し、＋ボタンまたはーボタンを使って、フォルダーを選択（反転表示）します。
"ファイル／フォルダー" 画面でのナビゲーション操作については、52ページ「ファイル／フォルダー画面内のナビゲーション」をご覧ください。

4. QUICKボタンを押すと、以下のポップアップメニューが表示されます。

＋ボタンまたはーボタンを使って **"フォルダー選択"** を選択（反転表示）し、►ボタンを押します。
ホーム画面に戻り、フォルダー内の最初のファイルが選択され、停止状態になります。
以前の再生範囲設定にかかわらず、再生範囲設定が **"フォルダー"** になり、このフォルダーが再生範囲になります。また、このフォル

ダーがカレントフォルダー（現在選択されているフォルダー）になり、録音したファイルもここに保存されるようになります。

ファイル／フォルダー画面を使って再生範囲のフォルダーを選択する(2)

再生範囲が **"フォルダー "** のとき、**"ファイル／フォルダー "** 画面でファイルを選択すると、選択したファイルを含むフォルダーが再生範囲になります。

1. MENUボタンを押して、**"メニュー "** 画面を表示します。
2. ＋ボタンまたはーボタンを使って **"ファイル／フォルダー "** メニュー項目を選択（反転表示）し、►ボタンを押します。
   "ファイル／フォルダー " 画面が表示されます。

ホーム画面で選択されていたファイルを含むフォルダーの内容が表示されます。

3. ◄◄ボタンまたは►►ボタンを使って階層を移動し、＋ボタンまたはーボタンを使って再生したい曲（ファイル）が入っているフォルダーを選択（反転表示）します。
   "ファイル／フォルダー " 画面でのナビゲーション操作については、52ページ「ファイル／フォルダー画面内のナビゲーション」をご覧ください。
4. ►►ボタンを押します。
5. 再生したい曲（ファイル）を選択（反転表示）します。

6. ►ボタンを押します。
   ホーム画面に戻り、選択したファイルが再生されます。また、このフォルダーがカレントフォルダー（現在選択されているフォルダー）になり、録音したファイルもここに保存されるようになります。
   再生範囲が **"フォルダー "** に設定されていた場合は、選択したファイルを含むフォルダーが再生範囲になります。

再生リスト

再生するファイルのリスト（再生リスト）を作成することができます。
"再生設定" 画面の **"再生対象"** 項目で **"再生リスト"** に設定すると、再生リスト上の曲を再生することができます。

再生リストに登録する

1. **MENU**ボタンを押して、**"メニュー"** 画面を表示します。
2. **+**ボタンまたは**−**ボタンを使って **"ファイル／フォルダー"** メニュー項目を選択（反転表示）し、**►**ボタンを押します。
   "ファイル／フォルダー" 画面が表示されます。

メモ

"ファイル／フォルダー" 画面の詳細については、53ページ「第5章　ファイルやフォルダーの操作（ファイル／フォルダー画面）」をご覧ください。

3. **+**ボタンまたは**−**ボタンを使って再生リストに登録したいファイルを選択し、**QUICK**ボタンを押します。
   ポップアップメニューが表示されます。

メモ

ファイルの選択方法の詳細については、52ページ「ファイル／フォルダー画面内のナビゲーション」をご覧ください。

4. **+**ボタンまたは**−**ボタンを使って、**"リスト登録"** を選択（反転表示）します。

5. **►**ボタンを押します。
   選択（反転表示）した曲が再生リストに登録され、ポップアップメニューが閉じます。
6. 必要に応じて上記手順**3.**、**4.**、**5.**を繰り返します。リスト上では、登録順に曲番号が付けられます。

再生リストを編集する

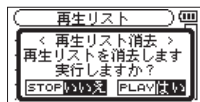
"再生リスト" 画面には、作成した再生リストが表示されます。また、この画面を使って、ファイルの再生や再生リストの編集を行うことができます。

1. **MENU**ボタンを押して、**"メニュー"** 画面を表示します。
2. **+**ボタンまたは**−**ボタンを使って **"ファイル／フォルダー"** メニュー項目を選択（反転表示）し、**►**ボタンを押します。
   "ファイル／フォルダー" 画面が表示されます。
3. **⏮**ボタンを使って、一番上の階層まで階層を移動します。

4. **+**ボタンまたは**−**ボタンを使って **"再生リスト"** を選択（反転表示）して、**⏭**ボタンを押します。
   "再生リスト" 画面が表示されます。

5. ＋ボタンまたはー ボタンを使って編集したいファイルを選択（反転表示）し、**QUICK**ボタンを押します。
ポップアップメニューが表示されます。

6. ＋ボタンまたはー ボタンを使って希望の項目を選択（反転表示）し、►ボタンを押すと、本機が以下の動作を行います。

全リスト消去：
再生リスト上の全てのファイルを削除する確認のポップアップメッセージが表示されますので、削除する場合は►ボタンを押します。削除しない場合は **⏻/❙ (HOME)**［■］ボタンを押します。
この操作の場合は、手順**3.**でどの曲を選択してもかまいません。全ファイルが再生リストから削除されますが、microSDカードからは削除されません。

登録削除：
曲を再生リストから削除します。再生リストから削除されますが、microSDカードからは削除されません。

移動：
選択している曲（ファイル）の曲順を変更します。ファイル名だけでなく、曲番数字も反転表示になります。

- ＋ボタンまたはー ボタンを使って、再生リスト内で選択ファイルの曲順を移動します。

上図は、4曲目のファイルを3曲目に移動した例です。

- ►ボタンを押します。
移動が完了して、通常の **"再生リスト"** 画面に戻ります。

キャンセル：
選択中（反転表示中）のファイルに関する操作をキャンセルします。

再生するファイルを選択する（スキップ）

ホーム画面で、⏮ボタンまたは⏭ボタンを押して、再生したいファイルを選択します。
ファイルの途中で⏮ボタンを押すとファイルの先頭へ戻り、ファイルの先頭で⏮ボタンを押すと1つ前のファイルの先頭にスキップします。
ファイルの先頭、または途中で⏭ボタンを押すと、次のファイルへスキップします。

メモ

- 再生できるファイルは、再生範囲内のファイルです。
- 再生中のファイル情報（曲名など）やファイル番号がディスプレーに表示されます。
- ファイルの先頭で停止しているときは、ディスプレーに動作アイコン“■”を表示します。ファイルの途中で停止しているときは、動作アイコン“❚❚”を表示します。
- 現在の位置から曲の先頭または最後までの間にIN点（ループ再生の始点）およびOUT点（終点）がある場合には、その点に移動します。曲を移動したい場合には、⏮ボタンまたは⏭ボタンを必要なだけ押してください。

再生する

ホーム画面で停止中に►ボタンを押すと、再生を始めます。

メモ

- 再生できるファイルは、再生範囲内のファイルです。
- **“ファイル／フォルダー”** 画面でファイル名を選択して再生させることもできます。

一時停止する

ホーム画面で再生中に **⏻/❙(HOME)** [■] ボタンを押すと、その位置で再生を停止します。（一時停止）
再度►ボタンを押すと、その位置から再生を始めます。

停止する

ホーム画面で再生中に **⏻/❙(HOME)** [■] ボタンを押して一時停止状態にし、再度 **⏻/❙(HOME)** [■] ボタンを押すと、ファイルの先頭に戻ります。（停止）

早戻し／早送りをする（サーチ）

ホーム画面で停止中または再生中に⏮ボタン／⏭ボタンを押し続けると、早戻し／早送りサーチ再生を行います。

メモ

⏮ボタン／⏭ボタンを押し続けるとサーチスピードが加速してゆきます。

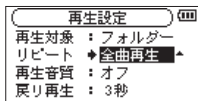
繰り返し再生する（リピート）

1つのファイルを繰り返して再生する、または指定した範囲内の複数のファイルを繰り返して再生することができます。

1. MENUボタンを押して、**“メニュー”** 画面を表示します。

2. ＋ボタンまたはーボタンを使って **“再生設定”** メニュー項目を選択（反転表示）し、►ボタンを押します。
“再生設定” 画面が表示されます。

3. ＋ボタンまたはーボタンを使って **“リピート”** 項目を選択（反転表示）し、►►Iボタンまたは►ボタンを押します。

再生設定
再生対象　：フォルダー
リピート　：全曲再生
再生音質　：オフ
戻り再生　：3秒

4. ＋ボタンまたはーボタンを使って、リピートのモードを設定します。

全曲再生（初期値）**：**
通常の再生（再生範囲内の連続再生）を行うモードです。

1曲再生：
1曲だけ再生するモードです。リピートは行いません。
ホーム画面に **“SINGLE”** アイコンが表示されます。

1曲繰返し：
再生中の曲をリピート再生するモードです。ホーム画面に **“⟳1”** アイコンが表示されます。

全曲繰返し：
再生範囲設定で設定した範囲内の全曲をリピート再生するモードです。ホーム画面に **“⟳ALL”** アイコンが表示されます。

メモ

上記の **“リピート”** 項目を **“オフ”** 以外に設定しているときにループ再生を実行すると、リピート再生が自動的に **“オフ”** になります。

5. 設定が終了したら、⏻/ I (HOME) [■] ボタンを押して、ホーム画面に戻り、再生を開始します。

特殊な再生（再生コントロール機能）

本機の再生コントロール機能を使って、ファイル内の希望の区間を繰り返し再生する、または音程を変えずに再生スピードを変えることができます。また、再生したときに小さくて聴き取りにくいときに、全体の音圧感を調整して聴き取りやすくすることができます。
これらの再生コントロール機能を使って、練習やフレーズコピーを効果的に行うことができます。

再生コントロール機能の設定

再生コントロール機能の設定は、再生コントロール画面で行います。
ホーム画面で停止中または再生中に**PB CONT**ボタンを押すと、再生コントロール画面が表示されます。

この画面では、再生スピード、ループ再生の設定ができます。

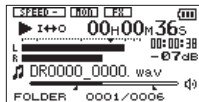
この画面内での設定作業を終えたあと、**⏻/❙ (HOME)**［■］ボタンまたは**PB CONT**ボタンを押すと、ホーム画面に戻ります。

指定した区間を繰り返し再生する（ループ再生）

以下の手順で、ファイル内の希望の区間を繰り返し再生（ループ再生）することができます。

1. ホーム画面で停止中または再生中に**PB CONT**ボタンを押して、再生コントロール画面を表示します。

2. ►ボタンを押して再生し、ループ再生したい区間の始点で**MARK**ボタンを押します。
現在位置がIN点（始点）として設定されます。
再生位置表示バーの下部には、該当する位置に“◢”が点灯します。

3. ループ再生したい区間の終点で**MARK**ボタンを押します。
現在位置がOUT点（終点）として設定され、IN-OUT 点間のループ再生が開始されます。
再生位置表示バーの下部には、該当する位置に“◣”が点灯します。
ループ再生中は“I↔O”が点灯します。
PB CONTボタンを押すと、IN点（始点）／OUT点（終点）の設定、およびループ設定が有効なままホーム画面に戻ります。このとき、ホーム画面でも“I↔O”が点灯し、再生位置表示バーの下部には、IN点（始点）／OUT点（終点）に該当する位置に“◢”／“◣”が点灯します。

メモ

- IN-OUT点間が短すぎる場合には、**"間隔が短すぎます"** というポップアップメッセージが表示されます。1秒以上空けて設定し直してください。
- 再度**MARK**ボタンを押すと、IN点（始点）およびOUT点（終点）をクリアします。
- ループ再生を中止するには、再生コントロール画面を表示中に**MENU**ボタンを押します。再度**MENU**ボタンを押すと、設定されているIN-OUT点間でループ再生を行います。
- 2つ以上のファイルを跨いでのIN点（始点）およびOUT点（終点）の設定はできません。
- 違うファイルに対してIN点（始点）を設定すると、以前のIN点（始点）およびOUT点（終点）の設定は破棄されます。
- MP3ファイルがVBR形式の場合は、正確なIN点（始点）およびOUT点（終点）の指定ができない場合があります。

再生スピードを変える（VSA機能）

本機では、VSA機能（Variable Speed Audition）が搭載されており、再生音の音程を保ったまま再生スピードを変えることができます。

注意

サンプリング周波数96kHzで録音されたファイルを選択しているときには、VSA機能は使用できません。このとき、"SPEED✕" アイコンが表示されます。ただし、このときにも再生スピードの変更は行うことができます。

このファイルでは有効になりませんが、ホーム画面に戻って⏮ボタンや⏭ボタンを使うなどして44.1k/48kHzのファイルをロードしたときに、再生スピードの設定が有効になります。

再生コントロール画面表示中に、＋ボタンまたは－ボタンを押すと、再生スピードを早くするまたは遅くすることができます。

SPEED▲ 1.00 FX
■ 00H00M00S
再生スピード➡ x1.3 ⬍
♫ DR0000_0000.wav
MARK = I/O MENU = LOOP

再生スピード可変範囲は、**"0.5"** 倍（50%）～ **"1.5"** 倍（150%）の範囲で、0.1倍単位で設定可能です。

PB CONTボタンを押すと、設定した再生速度が有効なままホーム画面に戻ります。

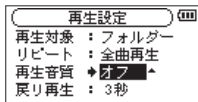
再生速度が **"1.0"** 倍より大きいときには **"SPEED▲"**、**"1.0"** 倍より小さいときには **"SPEED▼"** と表示されます。

再生イコライザー（再生音質）を使う

再生音を聴きやすくするために、お好みに合わせて音色を選択することができます（再生音質:再生イコライザー）。

再生イコライザーの設定は、**"再生設定"** 画面で行います。

1. MENUボタンを押して、**"メニュー "** 画面を表示します。
2. ＋ボタンまたはーボタンを使って **"再生設定"** メニュー項目を選択（反転表示）し、►ボタンを押します。
   "再生設定" 画面が表示されます。
3. ＋ボタンまたはーボタンを使って **"再生音質"** 項目を選択（反転表示）し、►►Iボタンまたは►ボタンを押します。

再生設定	
再生対象	：フォルダー
リピート	：全曲再生
再生音質	♦オフ
戻り再生	：3秒

4. ＋ボタンまたはーボタンを使ってイコライザーの設定をします。
   "高域" で高域を、**"中域"** で中域、**"低域"** で低域が調節できることを示し、**"+"** ／ **"-"** はその音域を上げるか下げるかを示します。
   選択肢： **"オフ"**（初期値）、**"高域 +"**、**"高域 -"**、**"中域 +"**、**"中域 -"**、**"低域 +"**、**"低域 -"**
5. 設定が終了したら、⏻/I (HOME)[■] ボタンを押して、ホーム画面に戻ります。

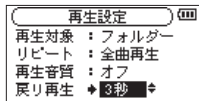
再生中に数秒前に戻り再生し直す（戻り再生）

再生中に►ボタンを押すと、数秒前（設定可能）に戻って再生します。（戻り再生機能）

再生中に聴き直したいフレーズ、歌詞などがあったときに►ボタンを押すことで、少し前から聴き直すことができます。

戻る時間は、**"戻り再生"** 項目で指定できます。

1. MENUボタンを押して、**"メニュー "** 画面を表示します。
2. ＋ボタンまたはーボタンを使って **"再生設定"** メニュー項目を選択（反転表示）し、►ボタンを押します。
   "再生設定" 画面が表示されます。
3. ＋ボタンまたはーボタンを使って **"戻り再生"** 項目を選択（反転表示）し、►►Iボタンまたは►ボタンを押します。

再生設定	
再生対象	：フォルダー
リピート	：全曲再生
再生音質	：オフ
戻り再生	♦3秒

4. ＋ボタンまたはーボタンを使って戻り再生機能で戻る時間を設定します。
   "1秒" ～ **"10秒"** の範囲で、1秒刻みおよび、**"20秒"**、**"30秒"** で設定できます。（初期値：**"3秒"**）
5. 設定が終了したら、⏻/I (HOME)[■] ボタンを押して、ホーム画面に戻ります。

QUICKボタンの概要

QUICKボタンを使うと、次のことができます。

- ホーム画面で停止中または一時停止中に押すと、現在の曲の削除、出力音量補正機能（全体の音圧感を上げる）を使うためのクイックメニュー画面を表示します。
  再生中は、出力音量補正機能のみのクイックメニュー画面を表示します。
- ホーム画面で録音待機中に押すと、入力レベル制御機能または内蔵ステレオマイクの左右を設定するためのクイックメニュー画面を表示します。
- ホーム画面で録音中に押すと、現在のファイルへの録音を停止し、新しいファイルに録音を継続するトラックインクリメントを行います。（→ 47ページ「録音中に手動でトラックインクリメントする」）
  このとき、クイックメニュー画面は表示されません。
- **"ファイル／フォルダー "** 画面または **"再生リスト"** 画面では、選択されているファイルまたはフォルダーを操作するポップアップメニューが表示されます。
- **"チューナー "** 画面で **"基準周波数"** 項目と **"入力レベル"** 項目を切り換えます。

メモ

"メニュー " 画面、**"その他"** サブメニュー画面および **"録音設定"** 画面などの各種設定画面では、**QUICK**ボタンは無効です。

表示画面、状態における**QUICK**ボタンの動作は、次のようになります。

表示画面	状態	動作内容
ホーム画面	停止中／一時停止中	削除、分割、出力音量補正機能のクイックメニュー画面を表示
	再生中	出力音量補正機能のみのクイックメニュー画面を表示
	録音待機中	入力レベル制御機能、内蔵ステレオマイクの左右設定のクイックメニュー画面を表示
	録音中	ファイルを切り換えて録音を続ける（トラックインクリメント）
再生コントロール画面		出力音量補正機能のみのクイックメニュー画面を表示
"ファイル／フォルダー " 画面、**"再生リスト"** 画面		選択したファイル（またはフォルダー）を操作するポップアップメニューを表示
"チューナー " 画面		**"基準周波数"** 項目と **"入力レベル"** 項目を切り換え
"メニュー " 画面、**"その他"** サブメニュー画面、各種設定画面		―

クイックメニュー画面

ホーム画面表示中にQIUCKボタンを押すと、クイックメニュー画面が表示されます。
この画面に表示される内容は、QIUCKボタンを押したときの状態により動作が異なります。

- ホーム画面で停止中または一時停止中のとき現在の曲の削除、分割と出力音量補正機能が選択できます。

[停止中／一時停止中のクイックメニュー画面]

ファイル削除：
現在の曲の削除ができます。(→ 67ページ「選択ファイルを削除する(クイックデリート)」)

ファイル分割：
現在の曲を分割することができます。(→ 68ページ「選択ファイルを分割する（ファイル分割)」)

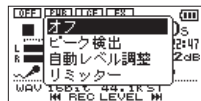
出力音量補正：
全体の音圧感を上げて聴き取りやすくすることができます。(→ 69ページ「音圧感を上げて聴き取りやすくする(出力音量補正機能)」)

- ホーム画面で再生中のとき、または再生コントロール画面のとき出力音量補正機能のみが選択できます。

[再生中／再生コントロール画面のクイックメニュー画面]

- ホーム画面で録音待機中のとき入力レベル制御機能と内蔵ステレオマイクの左右設定が選択できます。

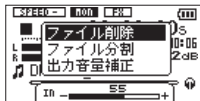
[録音待機中のクイックメニュー画面]

"入力レベル制御" が選択（反転表示）されている状態で、►ボタンを押すと、入力レベル制御設定画面が表示されます。

この画面で、次の3つから入力レベル制御機能を選択できます。

ピーク検出：
入力音が大きすぎたときに、録音レベルを適度なレベルまで自動で下げます。

自動レベル調整：
入力音が小さいときは大きく、大きいときは小さくなるように録音レベルを自動で調節します。

リミッター：
突発的な過大入力による歪みを防ぐことができます。
入力レベル制御機能の詳細は、40ページ「入力レベル制御機能を使う」を参照してください。

入力ミックスがオンになっているときには、⏮ボタンまたは⏭ボタンを使って入力レベルを簡易的に調節できます。

⏮ボタンまたは⏭ボタンを押すと、入力レベル設定状態を表すメーターがディスプレーの下部にプルアップ表示されます。入力音を聴きながら入力レベルを調節してください。（→ 45ページ「入力レベルを調節する（簡易調節）」）

メモ

- 入力ミックス用の簡易的なレベル調整です。レベルメーターを見ながらの調整ができないため、録音するための正確なレベル調整はできません。録音待機中に行ってください。（→ 39ページ「入力レベルを調節する」）
- 入力レベル制御機能で自動レベルに設定されている場合には、入力レベルの調節はできません。

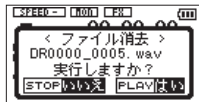
クイックメニュー画面を閉じる

クイックメニュー画面を閉じるには、**QUICK**ボタンを押します。

選択ファイルを削除する（クイックデリート）

"ファイル／フォルダー" 画面を使わずに、現在選択されているファイルを削除することができます。

1. ⏮ボタン／⏭ボタンを使って、削除したいファイルを選択します。
2. ホーム画面で停止中に**QIUCK**ボタンを押して、クイックメニュー画面を表示します。

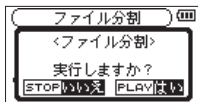
3. **＋**ボタンまたは**－**ボタンを使って、**"ファイル削除"** 項目を選択（反転表示）します。
4. ►ボタンを押すと、ファイルの削除の確認画面が表示されます。

►ボタンを押すとファイルが削除され、**⏻/Ⅰ (HOME)**[■] ボタンを押すと削除が中止されます。

選択ファイルを分割する（ファイル分割）

録音したファイルを任意の位置で、2つのファイルに分割することができます。

1. ⏮ボタン／⏭ボタン、もしくは **"ファイル/フォルダー "** 画面で、分割したいファイルを選択します。
2. ホーム画面で停止中に**QUICK**ボタンを押して、クイックメニュー画面を表示します。

3. +ボタンまたは−ボタンを使って **"ファイル分割"** メニュー項目を選択（反転表示）し、►ボタンを押します。
   "ファイル分割" 画面が表示されます。

4. +ボタンまたは−ボタンを使って分割する位置を決定し、**RECORD** [●] ボタンを押します。
   以下のポップアップメッセージが表示されます。

5. ►ボタンを押すと、ファイルが分割されます。
   ⏻/❙ (HOME) [■] ボタンを押すと、分割されずに **"ファイル分割"** 画面に戻ります。

メモ

- **"ファイル分割"** 画面表示中に►ボタンを押し、再生しながら位置を決めることもできます。
- **"ファイル分割"** 画面表示中は、►ボタンを押すたびに再生／一時停止を切り換え、⏮ボタンで曲の先頭に、⏭ボタンで曲の最後に移動します。+ボタンまたは−ボタンを押すと分割位置の微調整が行え、長く押すと連続移動できます。
- 分割すると、ファイル名の末尾に **"_a"** または **"_b"** が付加されたファイルが作成されます。

  （例）
  分割前のファイル名
  DR0000_0000.wav
  分割後のファイル名
  DR0000_0000_a.wav（ 分割点より前の部分）
  DR0000_0000_b.wav（ 分割点より後の部分）

注意

- MP3ファイルは、分割できません。
- microSDカードの容量が少ない場合は、分割できない場合があります。
- ファイル名が200文字以上になる場合は、分割できません。
- 分割後のファイル名と同名のファイルが存在する場合は、分割できません。

ヒント

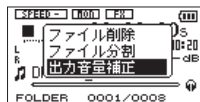
録音中にあらかじめ分割したい位置にマークを付けておくことができます。（→ 49ページ「マーク機能」）

音圧感を上げて聴き取りやすくする（出力音量補正機能）

再生したときに小さくて聴き取りにくい音があるときなどに、全体の音圧感を上げて聴き取りやすくします。（出力音量補正機能）

1. ホーム画面で停止中または再生中にQIUCKボタンを押して、クイックメニュー画面を表示します。

[停止中]

[再生中]

2. ＋ボタンまたはーボタンを使って、**"出力音量補正"** 項目を選択（反転表示）し、►ボタンを押します。

3. 出力音量補正画面が表示されます。

[停止中]

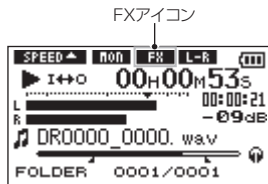
4. ＋ボタンまたはーボタンを使って、**"オン"** を選択（反転表示）し►ボタンを押すと、出力音量補正レベルアライン機能がオンになります。

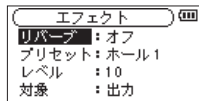
"オフ" を選択（反転表示）し►ボタンを押すと、出力音量補正機能がオフになります。

メモ

再生音の素材によっては、効果が少ない場合があります（すでに音圧調整が行われている音楽ファイルなど）。

第8章　エフェクター

本機には、エフェクターが内蔵されています。
録音時や練習時、入力信号にエフェクトをかける、または再生時に再生信号にエフェクトをかけることもできます。
エフェクターがオンのときは、ホーム画面上部の **“FX”** アイコンが反転表示（ **“FX”** ）します。

エフェクターを設定する

1. MENUボタンを押して、**“メニュー ”** 画面を表示します。
2. ＋ボタンまたは－ボタンを使って **“その他”** メニュー項目を選択（反転表示）し、►ボタンを押して **“その他”** サブメニュー画面を表示します。
3. ＋ボタンまたは－ボタンを使って **“エフェクト”** メニュー項目を選択（反転表示）し、►ボタンを押します。
“エフェクト” 画面が表示されます。

上図のように、**“エフェクト”** 画面には、4つの設定項目があります。
⏮ボタン／ ⏭ボタン、および＋ボタン／－ボタンを使って各項目の設定をします。

リバーブ：
エフェクターのオン／オフ設定をします。（初期値：**“オフ”** ）

プリセット：
使用するエフェクターをプリセットの中から設定します。エフェクターのプリセットの内容については、71ページ「エフェクターのプリセット一覧」をご覧ください。

レベル：
“プリセット” 項目で設定したエフェクターの出力レベルを変更することができます。設定範囲は、**“0”** ～ **“20”** です。

対象：
エフェクトを入力信号（ **“入力”** ）にかけるか、出力信号（ **“出力”** ）にかけるかを設定します。（初期値：**“出力”** ）

4. ＋ボタンまたは－ボタンを使って希望の項目を選択（反転表示）し、►►I ボタンまたは► ボタンを押すと、選択肢／値の設定ができるようになります。

5. ＋ボタンまたは－ボタンを使って、希望の選択肢／値に設定します。

6. I◄◄ ボタンを押して、設定項目状態にします。

7. 設定が終了したら、**⏻/ I (HOME)**［■］ボタンを押します。

注意

サンプリング周波数を96kHzに設定しているとき、およびサンプリング周波数が96kHzのWAVファイルを再生した場合には、エフェクター機能は働きません。このとき、エフェクターの設定をすることは可能です。

エフェクターのプリセット一覧

プリセットネーム	効果
ホール1（初期値）	ホールのような広い空間をイメージしたブライトなリバーブです。
ホール2	ホールのような広い空間をイメージしたウォームなリバーブです。
ルーム	小さな室内の空間をイメージしたリバーブです。
スタジオ	スタジオのような空間をイメージしたリバーブです。
プレート1	ブライトなプレートリバーブです。
プレート2	ウォームなプレートリバーブです。

第9章　楽器をチューニングする（チューナー）

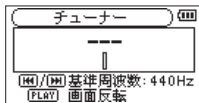
本機は、チューナーを内蔵しています。楽器の音を本機に入力することによって、ディスプレーのチューニングメーターを見ながら正確なチューニングができます。

チューナーを使う

チューナーを設定する

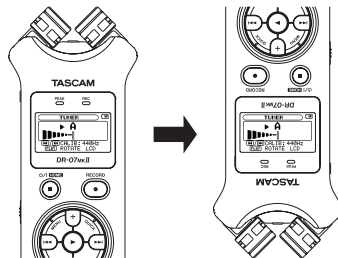
1. MENUボタンを押して、**"メニュー"** 画面を表示します。

2. ＋ボタンまたはーボタンを使って **"その他"** メニュー項目を選択（反転表示）し、►ボタンを押して **"その他"** サブメニュー画面を表示します。

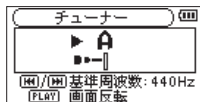
3. ＋ボタンまたはーボタンを使って **"チューナー"** メニュー項目を選択（反転表示）し、►ボタンを押します。
"チューナー" 画面が表示されます。

"チューナー" 画面では、A（ラ）音の基準周波数を設定する **"基準周波数"** 項目があります。⏮ボタンを押すと基準周波数の値が下がり、⏭ボタンを押すと上がります。

設定範囲　　：**"435Hz"** 〜 **"445Hz"**（1Hz単位）
初期値　　　：**"440Hz"**

メモ

"チューナー" 画面表示中に►ボタンを押すと、画面の上下が反転します。

チューニングする

1. **"チューナー "** 画面が表示されている状態で、チューニングする楽器の音を入力します。
もっとも近い音名がメーター上部に表示されます。

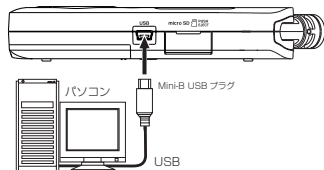
2. 合わせたい音名が表示されて、メーター中央部が点灯するようにチューニングします。
チューニングが低すぎる場合は左側、高すぎる場合は右側にバーが表示されます。ズレが大きいほど、バーが長く表示されます。

チューニングの入力レベルを調節する

1. **"チューナー "** 画面が表示されている状態で**QUICK**ボタンを押すと、画面下の **"基準周波数"** 項目が **"入力レベル"** 項目に切り換わります。

2. ⏮ボタンまたは⏭ボタンを使って、入力レベルを調節します。調節中は､入力レベル設定状態を表すメーターがディスプレーの下部にプルアップ表示されます。
調節の方法は、入力の簡易調節（→ 45ページ「入力レベルを調節する　　　（簡易調節）」）と同様です。

第10章　パソコンと接続する

本機をパソコンと付属のUSBケーブルで接続することで、本機のmicroSDカードの中の音声ファイルをパソコンに取り出したり、パソコンの中の音声ファイルを本機に取り込んだりすることができます。
本機で取り扱うことができる音声ファイル形式は、以下の通りです。

MP3：32k ～ 320kbps、44.1k/48kHz
WAV：44.1k/48k/96kHz、16/24ビット

メモ

本機とパソコンをUSB接続する代わりに、本機からmicroSDカードを取り外して直接（あるいはカードアダプターを使って）パソコンにセットしても、同じ操作ができます。

注意

- USBを接続し、**"PC接続"** を選択（反転表示）した場合は、本機の操作はできません。
- パソコンとの接続は、ハブを経由せずに直接接続してください。

電源がオンのときにUSB接続すると、またはUSB接続後に電源をオンにすると、USBバスパワーで駆動するか、パソコンとUSB接続するかを選択する **"USBモード"** 画面が表示されます。

＋ボタンまたは－ボタンを使って **"PC接続"** を選択（反転表示）し、►ボタンを押すと本機がパソコンに接続され、ディスプレーに **"USB 接続"** が表示されます。

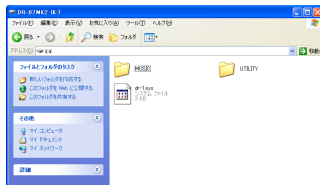
本機にmicroSDカードが正しく挿入されていることを確認してください。

メモ

電池をセットした状態で、USB接続した場合は、USBから電源が供給されます。（USBバスパワー優先）

microSDカードが正しく挿入されていない状態でUSB 接続を行うと、ポップアップメッセージ **"保存できません"** が表示されます。
パソコンのディスプレー上に、本機が**《DR-07MK2》**というボリュームラベルの外部ドライブとして表示されます。

パソコンへファイルを取り出す

1. パソコンのディスプレー上の《DR-07MK2》ドライブをクリックすると、《MUSIC》フォルダーと《UTILTY》フォルダーが表示されます。
2. 《MUSIC》フォルダーを開き、パソコンに取り出したいファイルを任意の場所にドラッグ&ドロップします。

パソコンからファイルを取り込む

1. パソコンのディスプレー上の《DR-07MK2》ドライブをクリックすると、《MUSIC》フォルダーと《UTILTY》フォルダーが表示されます。
2. パソコンの任意の音声ファイルを《MUSIC》フォルダーにドラッグ&ドロップします。

ヒント

- パソコン上の操作で、《MUSIC》フォルダー内を管理することができます。
- 《MUSIC》フォルダー内にサブフォルダーを作成することができます。サブフォルダーは、2階層まで作成できます。本機では、3階層以下のサブフォルダーおよびファイルは認識できません。
- 本機では、フォルダー内のみを再生範囲に設定することもできますので、取り込む楽曲のカテゴリーや演奏者別に整理しておくと便利です。
- サブフォルダーや楽曲に希望の名前を付けておくと、本機のホーム画面上や **"ファイル／フォルダー"** 画面上に表示されます。

パソコンとの接続を解除する

パソコンと本機の接続を外すときは、パソコンから本機を正しい手順で切り離してから、USBケーブルを外します。シャットダウン処理が実行されたあとに、電源がオフになります。
パソコン側での接続解除方法については、パソコンの取扱説明書をご覧ください。

情報を見る（インフォメーション）

“インフォメーション” 画面で、本機の各種情報を見ることができます。
以下の手順で **“インフォメーション”** 画面を表示します。

1. MENUボタンを押して、**“メニュー”** 画面を表示します。
2. ＋ボタンまたは－ボタンを使って **“その他”** メニュー項目を選択（反転表示）し、►ボタンを押して **“その他”** サブメニュー画面を表示します。
3. ＋ボタンまたは－ボタンを使って **“インフォメーション”** メニュー項目を選択（反転表示）し、►ボタンを押します。

“インフォメーション” 画面には、以下の3ページがあります。＋ボタンまたは－ボタンを使って、これらのページを切り換えることができます。

- **ファイル情報ページ（FILE）：**
  現在ロードされているオーディオファイルの情報を表示
- **カード情報ページ（CARD）：**
  セットしているmicroSDカードの使用状況を表示
- **システム情報ページ（SYSTEM）：**
  本機のシステムの設定情報、ファームウェアバージョンを表示

ファイル情報ページ（FILE）

“ファイル” ページでは、現在ロードされているオーディオファイルの情報を表示します。

インフォメーション
FILE (1/3)
WAV :16bit,ST,44.1k
ﾀｲﾄﾙ:DR0000_0002.wa
日時 :2000/01/01 04:35
容量 :905.1K byte

WAV ／ MP3

オーディオファイルの形式を表示します。
WAVファイルの場合は、ビット長、ステレオ／モノラル、サンプリング周波数（Hz）を表示します。
MP3ファイルの場合は、ビットレート（kbps）、CBR ／ VBR、サンプリング周波数（Hz）を表示します。
（CBR：固定ビットレート、VBR：可変ビットレート）

タイトル

ファイル名を表示します。
MP3ファイルでID3タグのタイトル情報がある場合は、その情報を表示します。

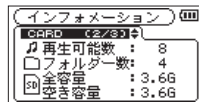
日時

ファイルの日付を表示します。

容量

ファイルサイズを表示します。

カード情報ページ（CARD）

“カード” ページでは、挿入しているmicroSDカードの使用状況を表示します。

再生可能数

MUSICフォルダー内にある再生可能なファイル数を表示します。

フォルダー数

MUSICフォルダー内にあるフォルダー数を表示します。

全容量

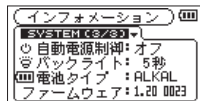
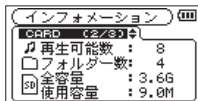
microSDカードの総メモリー容量を表示します。

空き容量／使用容量

microSDカードの残容量／使用量を表示します。

.ボタンまたは/ボタンを押すと、表示が **"空き容量"** と **"使用容量"** に交互に切り換わります。

システム情報ページ（SYSTEM）

"設定" ページでは、本機のシステムの設定情報、ファームウェアバージョンを表示します。

自動電源制御

電源のオートオフ設定を表示します。

バックライト

バックライトのオートオフ設定を表示します。

電池タイプ

使用する電池の種類の設定を表示します。

ファームウェア

システムファームフェアのバージョン情報を表示します。

環境設定（システム設定）

使用環境や条件に合わせて本機を快適に使うためのさまざまな設定、および本機の初期化やmicroSDカードの初期化などを、**"システム設定"** 画面で行います。
以下の手順で **"システム設定"** 画面を表示します。

1. **MENU**ボタンを押して、**"メニュー "** 画面を表示します。

2. ＋ボタンまたは−ボタンを使って **"その他"** メニュー項目を選択（反転表示）し、►ボタンを押して **"その他"** サブメニュー項目を表示します。

3. ＋ボタンまたは−ボタンを使って **"システム設定"** メニュー項目を選択（反転表示）し、►ボタンを押します。
"システム設定" メニュー画面が表示されます。

"システム設定" 画面の各項目で、以下の設定を行うことができます。

⏮ボタン／⏭ボタン、および＋ボタンまたはーボタンを使って、各項目の設定をします。

電源の自動電源制御設定

"自動電源制御" 項目で電池駆動のときに、最後に動作あるいは操作してから自動的に電源がオフになるまでの時間を設定します。

選択肢："オフ"、"3分"、"5分"、"10分"、"30分"（初期値）

バックライトの設定

"バックライト" 項目で電池駆動のときに、最後に操作してから自動的にバックライトが消灯するまでの時間を設定します。

選択肢："オフ"（消灯）、**"5秒"**（初期値）、**"10秒"、"15秒"、"30秒"、"常時"**（常に点灯）

画面の濃さ調節

"画面の濃さ" 項目でディスプレーのコントラストを調節します。

選択肢："1" ～ **"20"**（初期値：**"5"**）

電池の種類の設定

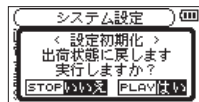
"電池タイプ" 項目で、使用する電池の種類を設定します。この設定は、電池の残量表示や正常動作に必要な最低残量の識別に使用されます。

選択肢："ALKAL"（アルカリ乾電池、初期値）、
"Ni-MH"（ニッケル水素電池）

初期設定に戻す

"設定初期化" 項目でイニシャライズを実行することにより、本機のさまざまな設定を初期設定状態に戻すことができます。

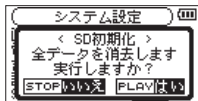
1. ＋ボタンまたはーボタンを使って **"設定初期化"** 項目を選択（反転表示）し、►ボタンを押すと、**"設定"** が反転表示します。

2. ►ボタンを押すと、確認のポップアップメッセージが表示されます。

3. ►ボタンを押して、イニシャライズを実行します。イニシャライズしない場合は、⏻/| (HOME) [■] ボタンを押します。

SDを初期化する

"SD初期化" 項目で、microSDカードをクイックフォーマットします。

SD初期化を行うと、カード上の全ての音楽ファイルが消去され、**《MUSIC》**フォルダー、**《UTILTY》**フォルダーおよび**《dr-1.sys》**が自動生成されます。

1. ＋ボタンまたは－ボタンを使って **"SD初期化"** 項目を選択（反転表示）し、►ボタンを押すと、**"設定"** が反転表示します。
2. ►ボタンを押すと、確認のポップアップメッセージが表示されます。

3. ►ボタンを押して、SD初期化を実行します。SD初期化しない場合は、**⏻/❘ (HOME)** [■] ボタンを押します。

SDを完全初期化する

"SD完全初期化" 項目で、microSDカードをフルフォーマットします。

SD完全初期化を行うと、カード上の全ての音楽ファイルが消去され、**《MUSIC》**フォルダー、**《UTILTY》**フォルダーおよび**《dr-1.sys》**が自動生成されます。

SD完全初期化では、メモリーのエラーをチェックしながら初期化を実行します。SD初期化と比べて多くの時間がかかります。

1. ＋ボタンまたは－ボタンを使って **"SD完全初期化"** 項目を選択（反転表示）し、►ボタンを押すと、**"設定"** が反転表示します。
2. ►ボタンを押すと、確認のポップアップメッセージが表示されます。
3. ►ボタンを押して、SD完全初期化を実行します。SD完全初期化しない場合は、**⏻/❘ (HOME)** [■] ボタンを押します。

注意

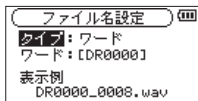
SDの初期化の実行は、別売の専用ACアダプター（TASCAM PS-P515U）を使用するか、パソコンとのUSBバスパワー接続状態で行うか、電池の残量が十分な状態で行ってください。

SDの初期化中に電池切れになると、正常なSDの初期化ができない場合があります。

ファイル名の形式を設定する

本機で録音するファイルの名前の形式を設定することができます。

1. **MENU**ボタンを押して、**"メニュー"** 画面を表示します。
2. ＋ボタンまたは－ボタンを使って **"その他"** メニュー項目を選択（反転表示）し、►ボタンを押して **"その他"** サブメニュー画面を表示します。
3. ＋ボタンまたは－ボタンを使って **"ファイル名設定"** メニュー項目を選択（反転表示）し、►ボタンを押します。
   "ファイル名設定" 画面が表示されます。

ファイル名設定
タイプ：ワード
ワード：[DR0000]
表示例
DR0000_0008.wav

⏮ボタンまたは⏭ボタン、および＋ボタンまたは－ボタンを使って、各項目の設定をします。この画面の各項目で、以下の設定を行うことができます。

ファイル名の形式

"タイプ" 項目で、**"ワード"** か **"日時"** かを設定します。

選択肢： **"ワード"**（初期値）、**"日時"**

"ワード"： **"ワード"** で設定した6文字をファイル名に付けます。

（例）DR0000_0000.wav

"日時"： 日付をファイル名に付けます。

（例）110101_0000.wav

メモ

日付は、本体内の時計をもとに設定されます。（→ 30ページ「日時を設定する」）

文字（WORD）の設定

"ワード" 項目で、⏮ボタンまたは⏭ボタンでカーソルを移動し、＋ボタンまたは－ボタンを使って文字を設定します。

文字は、英数の他に、記号「! # $ % & ' ( ) + , - . ; = @ [] ^ _ ` { } ~」が使用可能です。

以下にポップアップメッセージの一覧表を示します。
DR-07MKIIでは、状況に応じてポップアップメッセージが表示されますが、それぞれのメッセージの内容を知りたいとき、および対処方法を知りたいときにこの表をご覧ください。

メッセージ	内容と対処方法
ファイル名が不正です （File Name ERR）	ファイル分割によりファイル名の文字数が200文字を超えました。ファイル分割を行うとファイル名の末尾に「_a」または「_b」が追加されます。ファイル分割を行う前にパソコンと接続し、198文字以下のファイル名に変更してください。
同名ファイルがすでにあります （Dup File Name）	ファイル分割により作成されるファイルと同じファイル名のファイルが同じフォルダー内にすでに存在します。ファイル分割を行うとファイル名の末尾に「_a」または「_b」が追加されます。ファイル分割を行う前にパソコンと接続し、ファイル名を変更してください。
ファイルが見つかりません （File Not Found）	再生リストに登録されているファイルが見つからないか、ファイルが壊れている可能性があります。対象のファイルを確認してください。
動作対象外ファイル （Non-Supported）	ファイル形式がサポート対象外です。取り扱い可能なファイル形式については、「第10章 パソコンと接続する」をご覧ください。
電池残量がありません （Battery Empty）	電池の残量がありません。電池を交換してください。
間隔が短すぎます （I/O Too Short）	IN点（始点）とOUT点（終点）の間隔が短すぎます。1秒以上空けて設定してください。
再生リストにファイルがありません （File Not Found PLAYLIST）	再生リストに登録されているファイルが見つかりません。MUSICフォルダー内に対象のファイルがあるか確認してください。
再生リストがありません （No PLAYLIST）	再生リストにファイルが登録されていません。再生リストにファイルを登録するか、再生対象を「**再生リスト**」以外に設定してください。
再生リストがいっぱいです （PLAYLIST Full）	再生リストがいっぱいです。再生リストには、最大99ファイルまで登録可能です。
MBRエラー SDカードエラーです （MBR ERROR Init CARD）	カードが正常にフォーマットされていないか、カードが壊れている可能性があります。カードを交換するか、このメッセージが表示されている状態で►ボタンを押すと、FATフォーマットが実行されます。 <u>FATフォーマットが実行されるとカード内のデータは、全て消去されます。</u>

メッセージ	内容と対処方法
フォーマットエラー SDを初期化します 実行しますか？ （Format Error Format CARD Are you sure ?）	カードが正常にフォーマットされていないか、カードが壊れている可能性があります。このメッセージは、USB接続したパソコンでFATフォーマットした場合や未フォーマットのカードを挿入した場合にも表示されます。 フォーマットは、必ずDR-07MKII本体で行ってください。カードを交換するか、このメッセージが表示されている状態で►ボタンを押すと、FATフォーマットが実行されます。 FATフォーマットが実行されるとカード内のデータは、全て消去されます。
ファイルがありません システムを再構築します （File Not Found Make Sys File）	本機を使用するために必要なシステムファイルがありません。このメッセージが表示されている状態で►ボタンを押すと、システムファイルが作られます。
システムエラー システムを再構築します （Invalid Sysfile Make Sys File）	本機を使用するために必要なシステムファイルが正常でありません。このメッセージが表示されている状態で►ボタンを押すと、新しいシステムファイルが作られます。

メッセージ	内容と対処方法
SDカードエラー 交換してください （Invalid Card Change Card）	カードが正常でない可能性があります。カードを交換してください。
書き込み速度不足です （Write Timeout）	カードへの書き込みが間に合いませんでした。 ファイルをパソコンへバックアップの上、フォーマットを実行してください。
カードがいっぱいです （Card Full）	カードの残容量がありません。不要なファイルを削除するかパソコンへ移動してください。
フォルダー階層制限 2階層までです （Layer too Deep）	フォルダーは、2階層までです。このフォルダー内に新たなフォルダーを作成することはできません。
分割できません （Can't Divide）	ファイル分割の実行時に分割位置が適切でありません。（曲の先頭、曲の最後）
録音時間の限界に到達 （Max File Size）	ファイルのサイズが指定のサイズを超えました。あるいは録音時間が24時間を超えました。
ファイル総数限界に到達 （File Full）	フォルダーとファイルの総数が制限値（5000個）を超えました。不要なフォルダーやファイルを削除するかパソコンへ移動してください。
カードエラー （Card Error）	カードを正常に認識できません。カードを交換してください。

メッセージ	内容と対処方法
MP3非対応の機能です （Current File MP3）	MP3ファイルの分割はできません。
ファイルが保護されています （File Protected）	リードオンリーファイルのため、削除できません。
カードがありません （No Card）	カードがないため、録音できません。
再生できるファイルがありません （No PB File）	再生可能なファイルがありません。 ファイルが壊れている可能性があります。
ファイルがありません （No MUSIC File）	再生ファイルがないため、ファイル分割およびOVER DUBは実行できません。
オーバーダブできません 設定を確認してください （Cannot overdub! See REC setting）	96kHzのWAVファイルをMP3でオーバーダビングすることはできません。録音フォーマットをWAVにしてください。

<table>
<tr><th>メッセージ</th><th>内容と対処方法</th></tr>
<tr><td>エラーが発生しました
（Not Continued）</td><td rowspan="11">これらのエラーが出た場合は、本体の電源を入れ直してください。
電源を切ることができない場合は、電池や別売の専用ACアダプター（TASCAM PS-P515U）を取り外す、またはＵＳＢバスパワー駆動時はＵＳＢケーブルを外してください。
これらのエラーが頻繁に発生する場合は、ティアック修理センターにご相談ください。</td></tr>
<tr><td>ファイル操作ができません
（File Error）</td></tr>
<tr><td>保存できません
（Can't Save Data）</td></tr>
<tr><td>再生エラー
（Player Error）</td></tr>
<tr><td>機器エラー
（Device Error）</td></tr>
<tr><td>書き込みに失敗しました
（Writing Failed）</td></tr>
<tr><td>システムに問題が発生しました
（Sys Rom Err）</td></tr>
<tr><td>システムエラー 50
（System Err 50）</td></tr>
<tr><td>システムエラー 1
（System Error 1）</td></tr>
<tr><td>システムエラー 2
（System Error 2）</td></tr>
</table>

メッセージ	内容と対処方法
システムエラー 3 （System Error 3）	これらのエラーが出た場合は、本体の電源を入れ直してください。 電源を切ることができない場合は、電池や別売の専用ACアダプター（TASCAM PS-P515U）を取り外す、またはＵＳＢバスパワー駆動時はＵＳＢケーブルを外してください。 これらのエラーが頻繁に発生する場合は、ティアック修理センターにご相談ください。
システムエラー 4 （System Error 4）	
システムエラー 5 （System Error 5）	
システムエラー 6 （System Error 6）	
システムエラー 7 （System Error 7）	
システムエラー 8 （System Error 8）	
システムエラー 9 （System Error 9）	

第13章　トラブルシューティング

本機の動作がおかしいときは、修理を依頼する前にもう一度、下記の点検を行ってください。それでも改善しないときは、お買い上げ店またはティアック修理センターにご連絡ください。

電源が入らない

- 電池が消耗していませんか？
- 電池の⊕、⊖を間違ってセットしていませんか?
- 別売の専用ACアダプター（TASCAM PS-P515U）の電源プラグおよびUSBコネクターがしっかりと差し込まれていますか?
- パソコンとUSBバスパワー接続しているときに、USBケーブルがしっかりと差し込まれていますか？
- パソコンとUSBバスパワー接続しているときに、USBハブを使用していませんか？

電源が自動的に切れてしまう。

オートパワーセーブ機能が設定されていませんか？（リファレンスマニュアルの「第11章　各種設定および情報表示」の「電源のオートパワーセーブ機能の設定」）

- 本機は欧州待機時電力規制（ErP）に対応しているため、ACアダプター・電池使用時にかかわらずオートパワーセーブ機能が動作します。オートパワーセーブ機能を使用したくないときは「OFF」に設定してください（工場出荷時には「30分」に設定されています）。

本体で操作できない

- **HOLD**スイッチが矢印方向にセットされていませんか？
- USB接続になっていませんか？

microSDカードを認識しない

- microSDカードがしっかりと挿入されているか確認してください。

再生できない

- WAVファイルの場合は、本機が対応しているサンプリング周波数であるかどうかを確認してください。
- MP3ファイルの場合は、本機が対応しているビットレートであるかどうかを確認してください。

スピーカーから音が出ない

- ヘッドホンをつないでいませんか？
- **"スピーカー設定"** 項目が **"オフ"** になっていませんか？
- モニターシステムは、きちんと接続されていますか？
- モニターシステムの音量が最小になっていませんか？
- 本機の出力レベル設定が最小になっていませんか？

第13章　トラブルシューティング

録音できない

- 接続をもう一度確認してください。
- 入力設定をもう一度確認してください。
- 録音レベルが低くなっていませんか？
- microSDカード容量がいっぱいになっていませんか？
- ファイル数が最大数に達していませんか？

録音レベルが低い

- 入力レベル設定が低くなっていませんか？
- 接続した外部機器の出力レベルが低くなっていませんか？

録音しようとする音が歪んで聴こえる

- 入力レベルの設定が大きすぎませんか？
- エフェクターがかかっていませんか？

再生音が不自然に聴こえる

- 再生のスピードを変えていませんか?
- 再生音質がかかっていませんか？
- 出力音量補正機能が有効になっていませんか？
- エフェクターがかかっていませんか？

ファイルが消去できない

- パソコンで読み取り専用に設定したファイルをコピーしたものを消去しようとしていませんか？

パソコン上に本機のファイルが表示されない

- 本機がUSB端子経由でパソコンに接続されていますか？
- USBハブを使っていませんか？
- 本機が録音中、または録音待機中になっていませんか？

定格

記録メディア

microSDカード（64MB ～ 2GB）
microSDHCカード(4GB ～ 32GB)

録音再生フォーマット

WAV：44.1k/48k/96kHz、16/24ビット
MP3：44.1k/48kHz、32k/64k/96k/128k/192k/256k/320kbps

チャンネル数

2チャンネル（ステレオ）

入出力定格

アナログオーディオ入出力定格

MIC/EXT IN 端子（プラグインパワー対応）

コネクター：1/8"（3.5mm）ステレオミニジャック
入力インピーダンス：25kΩ
基準入力レベル：－20dBV
最大入力レベル：－4dBV

/LINE OUT 端子

コネクター：1/8"（3.5mm）ステレオミニジャック
出力インピーダンス：12Ω
基準出力レベル：－14dBV（10kΩ負荷時）
最大出力レベル：+2dBV（10kΩ負荷時）
最大出力：20mW + 20mW（32Ω負荷時）

内蔵スピーカー

0.3W（モノラル）

コントロール入出力定格

USB端子

コネクター：Mini-B タイプ
フォーマット：USB2.0 HIGH SPEED マスストレージクラス

オーディオ性能

周波数特性

20-20kHz ＋1/－3dB
（EXT IN to LINEOUT、Fs44.1kHz、JEITA）
20-22kHz ＋1/－3dB
（EXT IN to LINEOUT、Fs48kHz、JEITA）
20-40kHz ＋1/－3dB
（EXT IN to LINEOUT、Fs96kHz、JEITA）

歪率

0.05%以下
(EXT IN to LINE OUT、Fs44.1k/48k/96 k Hz、JEITA)

S/N比

92dB以上
(EXT IN to LINE OUT、Fs44.1k/48k/96 k Hz、JEITA)

注）JEITA：JEITA CP-2150準拠

接続するパソコンの動作条件

最新の対応OS状況については、TASCAMのウェブサイト（http://tascam.jp/）ご確認ください。

Windowsマシン

Pentium 300MHz以上
128MB以上のMemory
USBポート（推奨：USB2.0）

Macintoshマシン

Power PC、iMac、G3、G4 266MHz以上
64MB以上のMemory
USBポート（推奨：USB2.0）

推奨USBホストコントローラー

Intel製チップセット

サポートOS

Windows：Windows XP、Windows Vista、Windows 7、Windows 8（8.1を含む）
Mac　　：Mac OS X 10.2以上

一般

電源

単3形電池2本（アルカリ乾電池またはニッケル水素電池）
パソコンからのUSBバスパワー
専用ACアダプター（TASCAM PS-P515U、別売）

消費電力

1.7W（最大時）

電池持続時間（連続使用時）

● アルカリ乾電池（EVOLTA）使用時

録音／再生	フォーマット	持続時間	備考
録音時	WAV、96kHz、24ビット	約10.5時間	内蔵ステレオマイク入力時
録音時	WAV、44.1kHz、16ビット	約17.5時間	内蔵ステレオマイク入力時
録音時	MP3、44.1kHz、128kbps	約16時間	内蔵ステレオマイク入力時
録音時	MP3、48kHz、320kbps	約11時間	内蔵ステレオマイク入力時
再生時	WAV、96kHz、24ビット	約17時間	ヘッドホン使用時

録音／再生	フォーマット	持続時間	備考
再生時	WAV、96kHz、24ビット	約17時間	内蔵スピーカー使用時
再生時	WAV、44.1kHz、16ビット	約19.5時間	ヘッドホン使用時
再生時	WAV、44.1kHz、16ビット	約19.5時間	内蔵スピーカー使用時
再生時	MP3、44.1kHz、128kbps	約19.5時間	ヘッドホン使用時
再生時	MP3、44.1kHz、128kbps	約18.5時間	内蔵スピーカー使用時
再生時	MP3、48kHz、320kbps	約19.5時間	ヘッドホン使用時
再生時	MP3、48kHz、320kbps	約18.5時間	内蔵スピーカー使用時

録音時：JEITA録音時、再生時：JEITA音楽再生時

● ニッケル水素電池（eneloop）使用時

録音／再生	フォーマット	持続時間	備考
録音時	WAV、96kHz、24ビット	約10時間	内蔵ステレオマイク入力時
録音時	WAV、44.1kHz、16ビット	約15.5時間	内蔵ステレオマイク入力時
録音時	MP3、44.1kHz、128kbps	約13時間	内蔵ステレオマイク入力時
録音時	MP3、48kHz、320kbps	約11時間	内蔵ステレオマイク入力時
再生時	WAV、96kHz、24ビット	約15時間	ヘッドホン使用時
再生時	WAV、96kHz、24ビット	約14時間	内蔵スピーカー使用時
再生時	WAV、44.1kHz、16ビット	約16.5時間	ヘッドホン使用時
再生時	WAV、44.1kHz、16ビット	約16.5時間	内蔵スピーカー使用時
再生時	MP3、44.1kHz、128kbps	約16時間	ヘッドホン使用時
再生時	MP3、44.1kHz、128kbps	約15時間	内蔵スピーカー使用時
再生時	MP3、48kHz、320kbps	約16時間	ヘッドホン使用時
再生時	MP3、48kHz、320kbps	約15時間	内蔵スピーカー使用時

録音時：JEITA録音時、再生時：JEITA音楽再生時

外形寸法

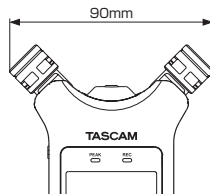
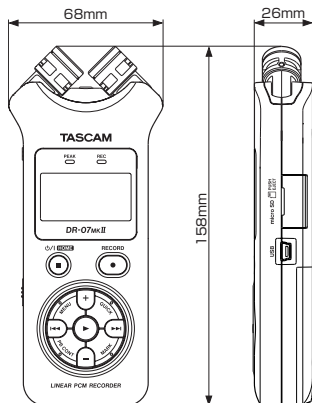
68 x 158 x 26mm（幅 x 高さ x 奥行き、マイク閉状態）
90 x 158 x 26mm（幅 x 高さ x 奥行き、マイク開状態）

質量

127g（電池を含まず）

動作温度

0 ～ 40℃

寸法図

[マイク開状態の寸法]

- 取扱説明書のイラストが一部製品と異なる場合があります。
- 製品の改善により、仕様および外観が予告なく変更することがあります。

第15章　日本語ー英語対応表

“システム設定” 画面の **“言語 / LANGUAGE”** 項目を **“Eng.”** に設定した場合の英語表記を以下の表にまとめます。（→29ページ「表示言語を設定する」）

メニュー／ MENU	
日本語	ENGLISH
録音設定	REC SETTING
再生設定	PLAY SETTING
ファイル／フォルダー	BROWSE
スピーカー設定	SPEAKER
その他	OTHERS
インフォメーション	INFORMATION
入力ミックス	MONITOR MIX
チューナー	TUNER
エフェクト	EFFECT
ファイル名設定	FILE NAME
日時設定	DATE/TIME
システム設定	SYSTEM

機能／ FUNCTION	
日本語	ENGLISH
事前録音	PRE REC
自動録音	AUTOREC
再生音質	PLAY EQ
戻り再生	JUMPBACK
再生スピード	VSA
再生リスト	PLAY LIST
出力音量補正	LEVEL ALIGN
ピーク検出	PEAK REDUCTION
自動レベル調整	AUTO LEVEL
言語/LANGUAGE	LANGUAGE
設定初期化	INITIALIZE
SD初期化	QUICK FORMAT
SD完全初期化	FULL FORMAT

ティアック株式会社　〒206-8530 東京都多摩市落合1-47

この製品の取り扱いなどに関するお問い合わせは

タスカム カスタマーサポート　〒206-8530　東京都多摩市落合1-47

0570-000-809

一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

受付時間は、10:00〜12:00 ／ 13:00〜17:00 です。（土・日・祝日・弊社指定休日を除く）

● ナビダイヤルがご利用いただけない場合

電話：042-356-9137 ／ FAX：042-356-9185

故障・修理や保守についてのお問い合わせは

ティアック修理センター　〒358-0026　埼玉県入間市小谷田858

0570-000-501

一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

受付時間は、9:30〜17:00です。（土・日・祝日・弊社指定休日を除く）

● ナビダイヤルがご利用いただけない場合

電話：04-2901-1033 ／ FAX：04-2901-1036

■ 住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

Printed in China

無料修理規定（持ち込み修理）

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きにしたがった正常な使用状態で保証期間内に故障が発生した場合には、ティアック修理センターが無料修理いたします。

2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、本書をご提示の上、ティアック修理センターまたはお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。商品を送付していただく場合の送付方法については、事前にティアック修理センターにお問い合わせください。

3. ご転居、ご贈答品などでお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合は、ティアック修理センターにご連絡ください。

4. 次の場合には、保証期間内でも有償修理となります。
（1）ご使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
（2）お買い上げ後の輸送・移動・落下などによる故障および損傷
（3）火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷
（4）接続している他の機器に起因する故障および損傷
（5）業務上の長時間使用など、特に苛酷な条件下において使用された場合の故障および損傷
（6）メンテナンス
（7）本書の提示がない場合
（8）本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名（印）の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合

5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.

6. 本書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

※ この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によって保証書を発行しているもの（保証責任者)、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、ティアック修理センターにお問い合わせください。

※ 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間についての詳細は、取扱説明書をご覧ください。

保証書

品　　名 および 形　　名	DR-07MK2	
機　　番		
保証期間	本　体	1年

お買い上げ日		年　　月　　日
お　客　様	お名前	
	ご住所	

この保証書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。お買い上げの日から上記期間中に故障が発生した場合は、本書をご提示の上、取扱説明書に記載のティアック修理センターまたはお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

販売店	
	電話　　　（　　　）